

三陸沿岸の津波石碑・標石(含む墓石)
—青森県三沢市～岩手県岩泉町—

卯花 政孝*

目次

津波碑関係市町村位置図 ……	1		
青森県三沢市 ……	3	岩手県野田村 ……	46
百石町 ……	8	普代村 ……	49
八戸市 ……	11	田野畑村 ……	58
階上町 ……	14	岩泉村 ……	64
岩手県種市町 ……	20	盛岡市 ……	70
久慈市 ……	29	花巻市 ……	72

凡例

1. 石碑・標石の調査対象は、津波に関するものとした。
2. 対象地域の全体の分布図、碑等の所在地の詳細図を付した。
3. 石碑等の寸法（センチメートル）には台座は含まない。
4. 碑文の不明文字・難読文字については、該当文字を◆◆◆で表示した。
5. 消失した碑・標石を ☆ で表示した。

謝辞

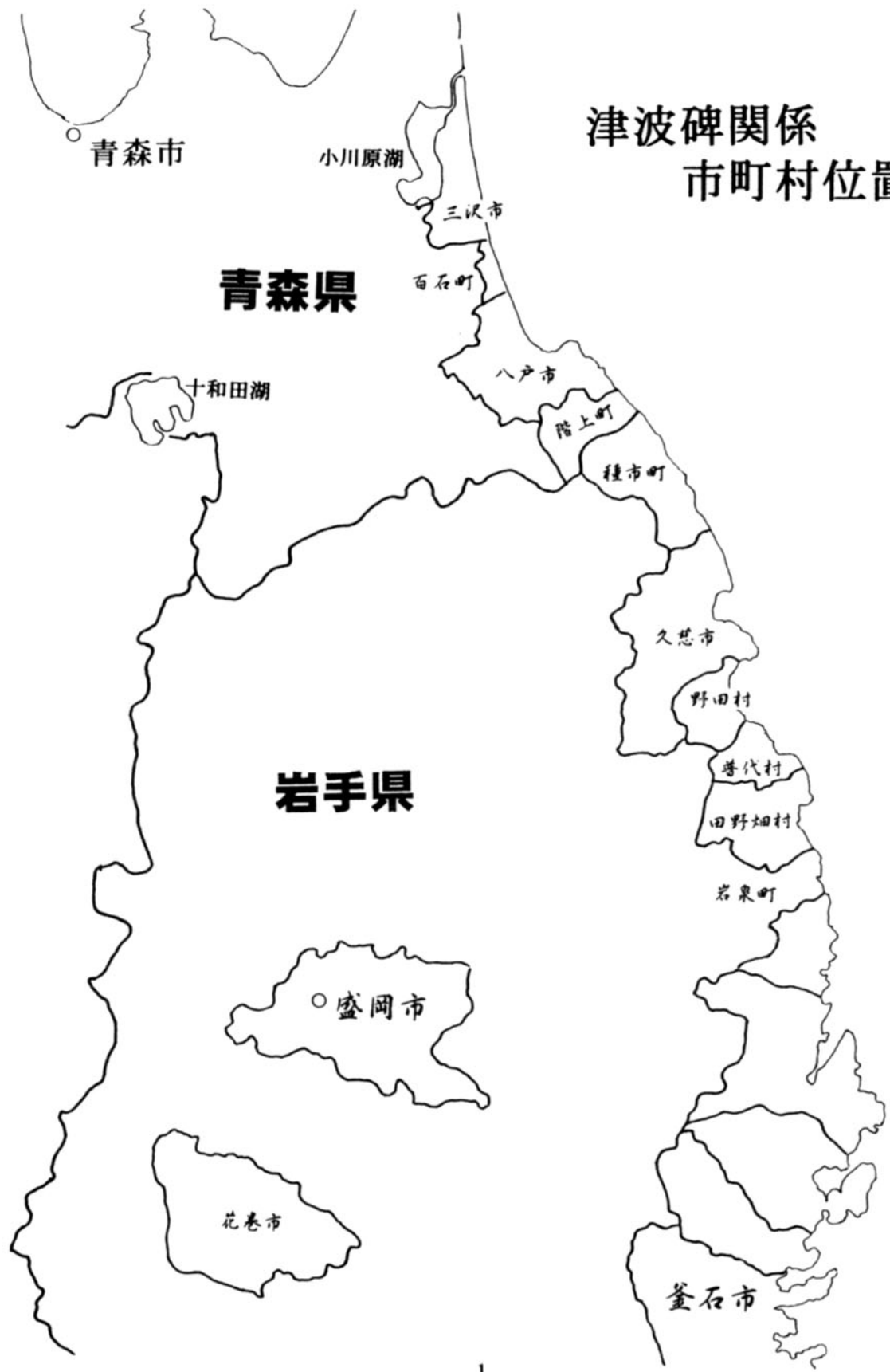
本調査に際し、宮古市 浜崎 弘氏・大船渡市三陸町 山下文男氏・岩手県立大学総合政策学部学生 熊谷 誠君・山崎 拓君・大戸 匠君および関連市町村役所・市町村民の方々の多大なる御協力を戴きました。厚く御礼申し上げます。

又、遂行するに当たり、岩手県立大学総合政策学部 首藤伸夫教授・東洋大学 北原糸子先生より、多大なる御助力と有益なるご意見を賜った。ここに記して、深甚なる感謝の意を表する。

なお、本調査の一部は、岩手県学術研振興財団の研究助成金（研究代表 首藤伸夫）により行われたことを付記する。

*東北大学 工学部土木工学科

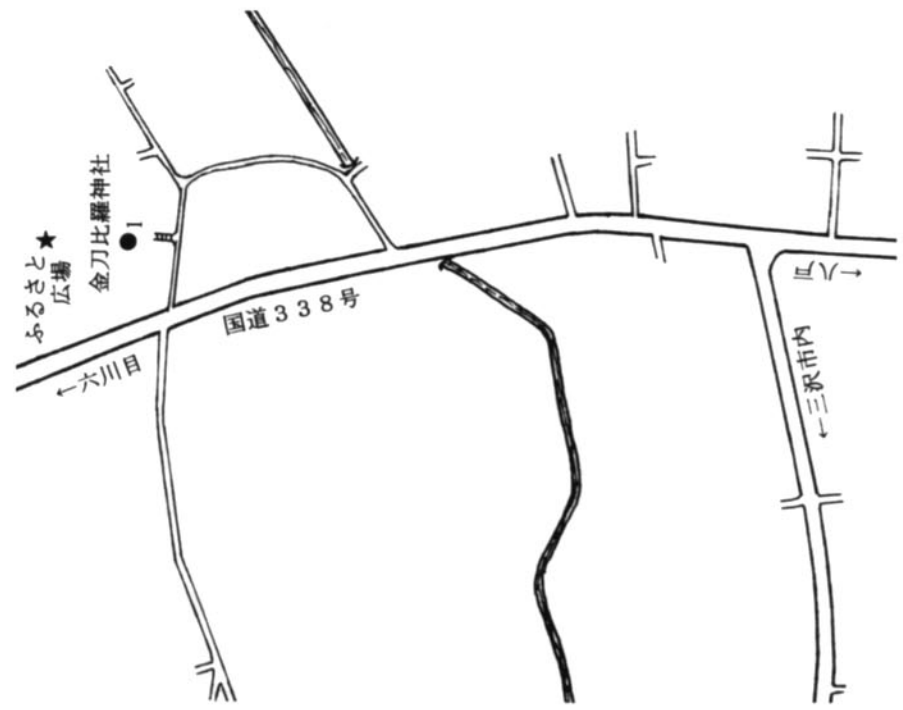
津波碑関係 市町村位置図



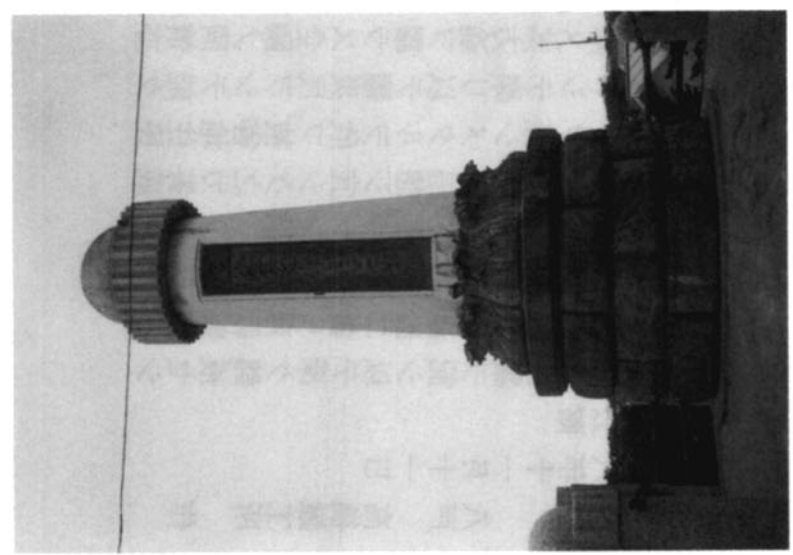
津波石碑・標石分布図 (三沢市)



三沢一 1 青森県三沢市四丁目三丁目 金刀比羅神社



タテ330ヨコ98アツサ98



震 嘯 災 記 念

津 浪 ほ り 鳴 海 震 地

(碑面裏)

震嘯災記念碑

維持昭和八年三月三日午前二時三十分
四十八秒突如トシテ強震アリ爾後半刻
ニシテ洋上遙カ大音響ヲ聞キ閃光ノ發
スルヲ見ルヤ間髪ヲ容レサルニ海嘯ノ
襲フ所ト爲ル怒濤天空ヲ摩シ摧ケテ地
上ヲ濯フ一瞬多數ノ生命ヲ奪ヒ財産ヲ
拉ス阿鼻叫喚ノ聲隨所ニ充テ其慘狀言
語ニ絶ス事

天聽ニ達シ畏クモ救恤ノ資ヲ賜フ
皇恩無窮感激ニ堪ヘス聖旨ヲ奉戴シテ
官民一致此間ニ處シ孜々トシテ之力復
興ニ懋メ其方途ヲ謬ラス全國ノ同情亦
翕然トシテ聚リ以テ罹災民ヲシテ能ク
其全キヲ得シメタルヲ欣フ被害地住民
ハ永ク此災禍ヲ追想シ宜シク之力警戒
ト豫防ニ努ムルノ要有ラン干

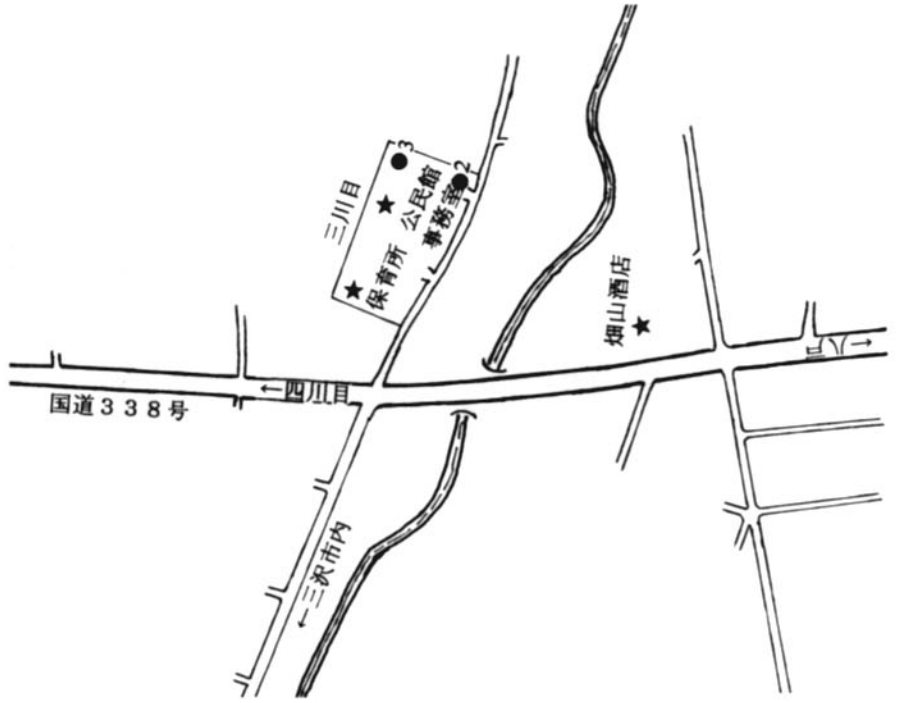
斯ニ東京朝日新聞社募集ノ義捐金ヲ以
テスル此記念碑建設ニ當リ青森縣知事
多久安信標語ヲ記シ以テ深ク銘戒セシ
ムト云爾

昭和八年十一月十一日

八戸 高橋鐵工所作

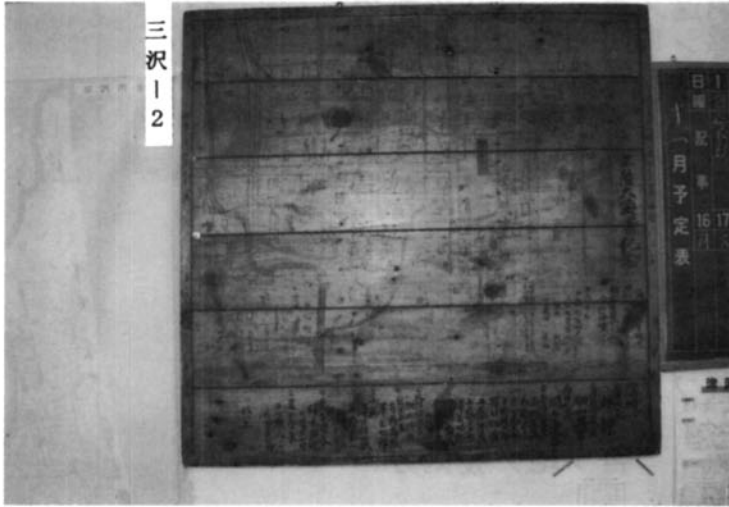
三沢一・二・三沢一・三

青森県三沢市三川目三丁目 三川目公民館



タテ 89 ヨコ 92

三沢一・二



タテ 330 ヨコ 98 アツサ 98

三沢一・三



三沢12
上北郡三沢村字三川目略圖
三陸大海嘯記念

海嘯被害状況
昭和八年三月三日(午前三時半)
強震後一時間斗リニシテ
突如海嘯アリ
當三川目ノ分
戸數約百拾戸(人口約七百十五名)
内流失家屋拾六戸
死者 貳拾名
重輕傷者三十一名
明治貳拾九年六月五日ノ三陸
大海嘯ヨリ三十八年目ニ当ル

當時
三澤村長
三澤村會
三澤村與
三澤村代
三澤村吉
三澤村定
三澤村伍
三澤村長
高橋萬藏
松橋末吉
富田福太郎
上野禎次郎
澤口仁藏
工藤清藏
工藤三郎
澤上七郎
佐田福藏
富田吉

外部民一同
全火防組合長
全山與吉
全副組合長
全高橋萬藏
全澤上七郎
全澤口仁藏
全野圭一
全組合役員
全組合員一同
全青年團長
全本耕造
全外本耕造
全外女會長
全小笠原みよ
全外會員一同
以上

地震嘯災記念

地震海鳴りほら津浪

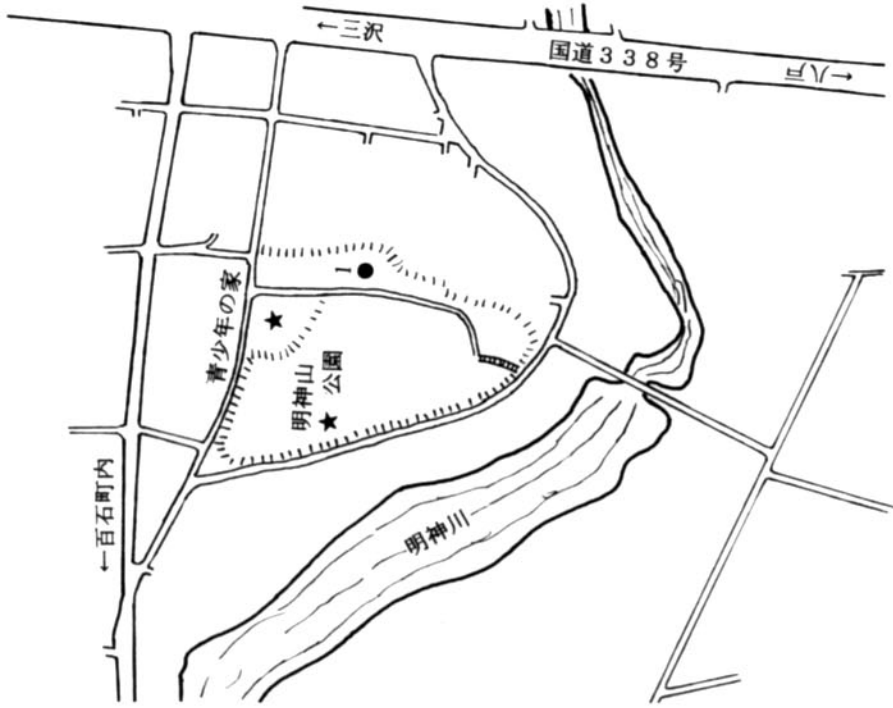
三沢13
地震嘯災記念碑

維持昭和八年三月三日午前二時三十分
四十八秒突如トシテ強震アリ爾後半刻
ニシテ洋上遙力大音響ヲ聞キ閃光ノ發
スルヲ見ルヤ間髪ヲ容レサルニ海嘯ノ
襲フ所ト爲ル怒濤ヲ空ヲ摩シ摧ケテ地
上ヲ濯フ一瞬多數ノ生命ヲ奪ヒ財產ヲ
拉ス阿鼻叫喚ノ聲隨所ニ充チ其慘狀言
語ニ絶ス事
天聽ニ達シ畏クモ救恤ノ資ヲ賜フ
皇恩無窮感激ニ堪ヘス聖旨ヲ奉戴シテ
官民一致此間ニ處シ夜々トシテ力復
興ニ懋メ其方途ヲ謬ラス全國ノ同情亦
翕然トシテ聚リ以テ罹災民ヲシテ能ク
其全キヲ得シメタルヲ欣フ被害地住民
ハ永ク此災禍ヲ追想シ宜シク之力警戒
ト豫防ニ努ムルヲ要有ラン于
斯二東京朝日新聞社募集ノ義捐金ヲ以
テスル此記念碑建設ニ當リ青森縣知事
多ク安信標語ヲ記シ以テ深ク銘戒セシ
ムト云爾
昭和八年十一月十一日
高橋鐵工所作

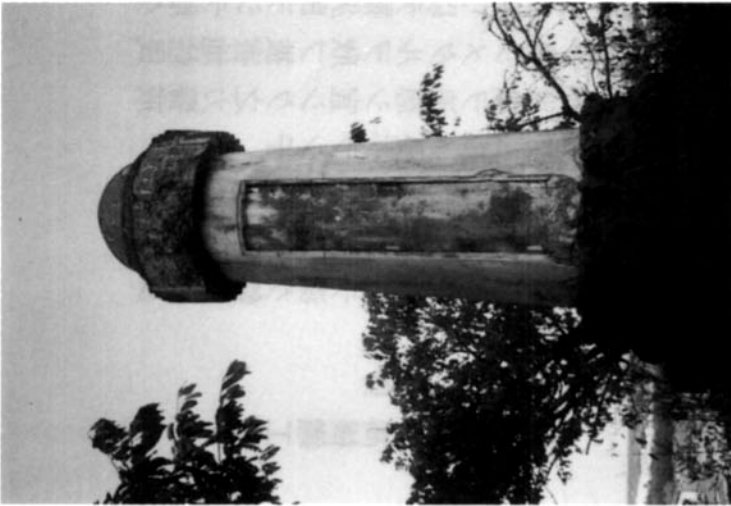
津波石碑・標石分布図 (百石町)



百石一1 青森県上北郡百石町松原一丁目 明神山公園



タテ330ヨコ98アツサ98



地震海鳴りほら津浪

百石一

(碑面裏)

震嘯災記念碑

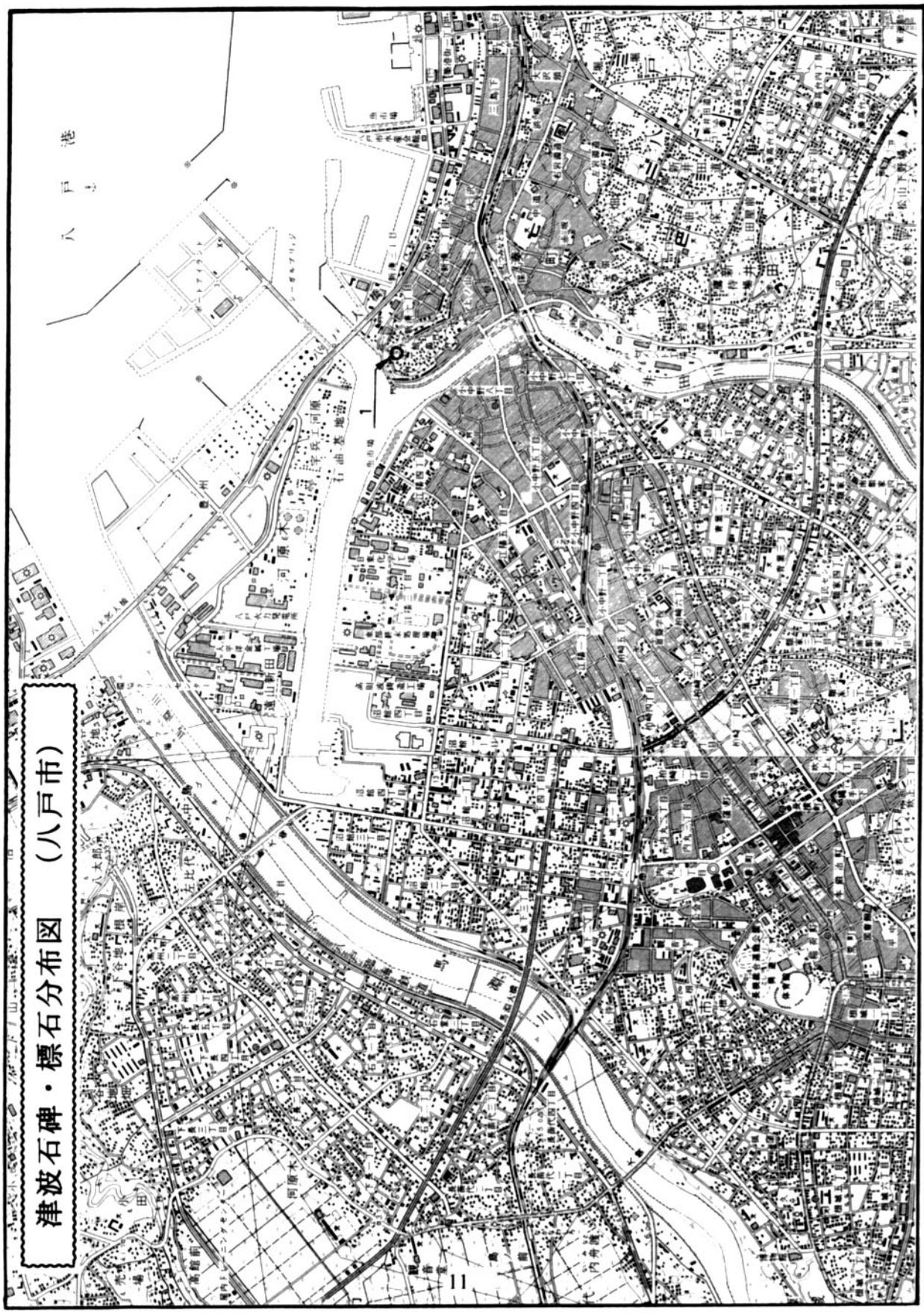
維持昭和八年三月三日午前二時三十分
四十八秒突如トシテ強震アリ爾後半刻
ニシテ洋上遙カ大音響ヲ聞キ閃光ノ發
スルヲ見ルヤ間髪ヲ容レサルニ海嘯ノ
襲フ所ト爲ル怒濤天空ヲ摩シ摧ケテ地
上ヲ濯フ一瞬多數ノ生命ヲ奪ヒ財産ヲ
拉ス阿鼻叫喚ノ聲隨所ニ充テ其慘狀言
語ニ絶ス事

天聽ニ達シ畏クモ救恤ノ資ヲ賜フ
皇恩無窮感激ニ堪ヘス聖旨ヲ奉戴シテ
官民一致此間ニ處シ孜孜トシテ之カ復
興ニ懋メ其方途ヲ謬ラス全國ノ同情亦
翕然トシテ聚リ以テ罹災民ヲシテ能ク
其全キヲ得シメタルヲ欣フ被害地住民
ハ永ク此災禍ヲ追想シ宜シク之カ警戒
ト豫防ニ努ムルノ要有ラン干

斯ニ東京朝日新聞社募集ノ義捐金ヲ以
テスル此記念碑建設ニ當リ青森縣知事
多久安信標語ヲ記シ以テ深ク銘戒セシ
ムト云爾

昭和八年十二月十一日

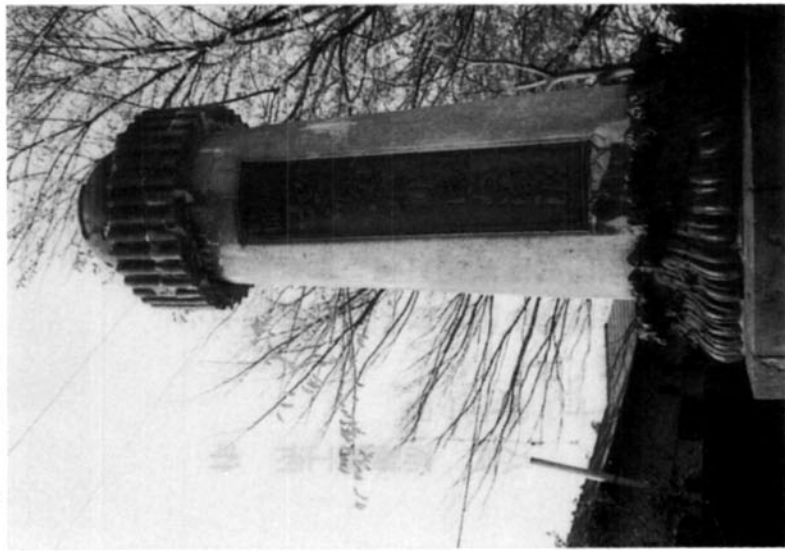
八戸 高橋鐵工所 作



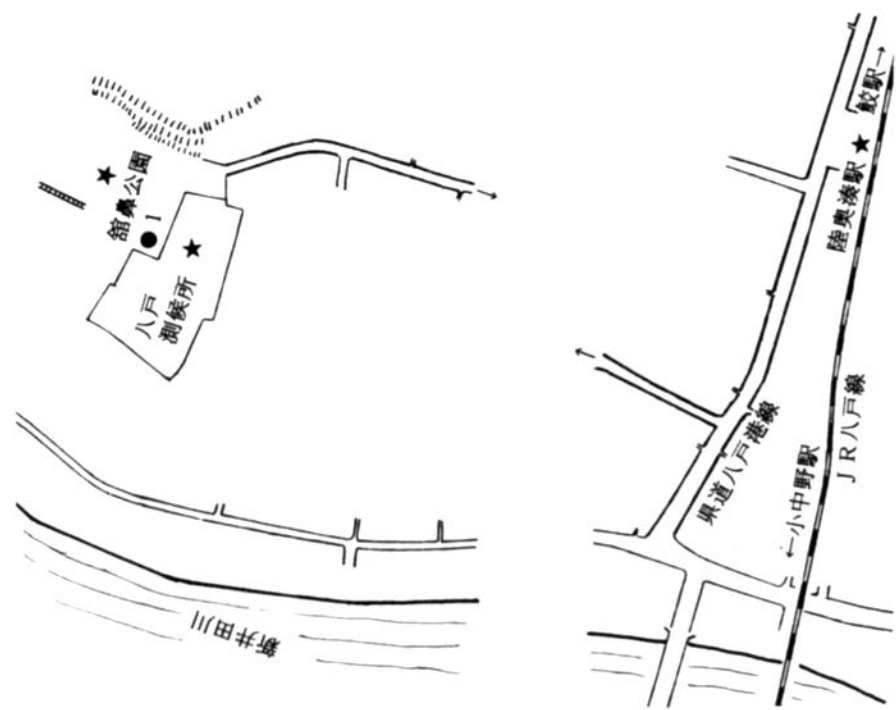
津波石碑・標石分布図 (八戸市)

八戸港

タテ 330 ヨ コ 98 アツサ 98



八戸一 1 青森県八戸市館鼻 館鼻公園



地 震 海 鳴 り ほ ら 津 浪

八 戸 一 一

(碑 面 裏)

震 嘯 災 記 念 碑

維 持 昭 和 八 年 三 月 三 日 午 前 二 時 三 十 分
四 十 八 秒 突 如 ト シ テ 強 震 ア リ 爾 后 半 刻
ニ シ テ 洋 上 遙 カ 大 音 響 ヲ 聞 キ 閃 光 ノ 發
ス ル ヲ 見 ル ヤ 間 髪 ヲ 容 シ サ ル ニ 海 嘯 ノ
襲 フ 所 ト 爲 ル 怒 濤 天 空 ヲ 摩 シ 摧 ケ テ 地
上 ヲ 濯 フ 一 瞬 多 數 ノ 生 命 ヲ 奪 ヒ 財 産 ヲ
拉 ス 阿 鼻 叫 喚 ノ 聲 隨 所 ニ 充 テ 其 慘 狀 言
語 ニ 絶 ス 事

天 聽 ニ 達 シ 畏 ク モ 救 恤 ノ 資 ヲ 賜 フ
皇 恩 無 窮 感 激 ニ 堪 ヘ ス 聖 旨 ヲ 奉 戴 シ テ
官 民 一 致 此 間 ニ 處 シ 孜 ヲ ト シ テ 之 力 復
興 ニ 懋 メ 其 方 途 ヲ 謬 ラ ス 全 國 ノ 同 情 亦
翕 然 ト シ テ 聚 リ 以 テ 罹 災 民 ヲ シ テ 能 ク
其 全 キ ヲ 得 シ メ タ ル ヲ 欣 フ 被 害 地 住 民
ハ 永 ク 此 災 禍 ヲ 追 想 シ 宜 シ ク 之 力 警 戒
ト 豫 防 ニ 努 ム ル ノ 要 有 ラ ン 干

斯 ニ 東 京 朝 日 新 聞 社 募 集 ノ 義 捐 金 ヲ 以
テ ス ル 此 記 念 碑 建 設 ニ 當 リ 青 森 縣 知 事
多 久 安 信 標 語 ヲ 記 シ 以 テ 深 ク 銘 戒 セ シ
ム ト 云 爾

昭 和 八 年 十 一 月 十 一 日

八 戸 高 橋 鐵 工 所 作

タテ 242 ヨ コ 98 アツサ 14



階上一1 青森県三戸郡階上町道仏 大蛇小学校



海嘯記念碑

(碑面裏・上段)

昭和八年三月三日午前二時三十分強震アリ約四十分ヲ經テ大海嘯襲來シ
 家屋納屋漁船漁具魚粕等或ハ倒塌或ハ流失死者負傷者多數ヲ出スニ至レ
 リ其慘狀ト損害タルヤ言筆ニ盡ス難シ顧ミルニ明治二十九年六月十五日
 三陸大海嘯ノ際モ甚大ナル損害アリシカ今年更ニ大ナル損害ヲ蒙レリ住
 民タルモノ深ク銘記シテ將來ノ對策ヲ構セサルヘカラス乃チ之ヲ永遠ニ
 記念センカ爲メニ村民相計リテ茲ニ比ノ碑ヲ建テタリ然シテ此ノ報
 天聽ニ達スルヤ長クモ御救恤金ヲ賜ハリ勅使御差遣セラル、等皇恩ノ大
 ナルニ村民一同感激感泣セリ全國ノ同情モ亦大ニシテ義捐金食料品慰
 問物等續々來リ殊ニ陸海軍部ニ於テハ率先シテ被服寢具類ヲ急贈シ縣並
 國ニ於テモ直チニ應急對策ヲ施シ村ヲ指導シテ一日モ早く復舊センコト
 ヲ圖レリ其ノ後着々復舊ノ途ニ就クヲ得タルハ主トシテ此ノ廣大ナル恩
 義ニ因ルモノト謂ハサルヘカラス村民ハ子々孫々ニ傳ヘテ海嘯ノ難ヲ恐
 ルト共ニ此ノ高恩ヲ永代ニ忘ルヘカラス今碑ヲ建ツルニ當リ爰ニ其ノ
 梗概ヲ誌ス

昭和八年七月三十一日 階上村建立

(碑面裏・下段)

發起人

階上村長 川村末吉

同 助役 小幡茂信

震嘯被害一覽

罹災戸數百九十九戸家屋流失

十戸倒潰八戸浸水十二戸納屋

流失及倒潰五十三棟漁船流失

九十九艘破損五十六艘動力船

流失一艘破損六艘被害總見積

額十萬千四百三十四圓

死亡者 前田由太郎 二十一才

同 南 岩次郎 二十六才

行衛不明者 坂本兼松 三十三才

重傷者五名輕傷者十一名

御下賜金 三百九十五圓

義捐金 一萬九千八百四十六圓

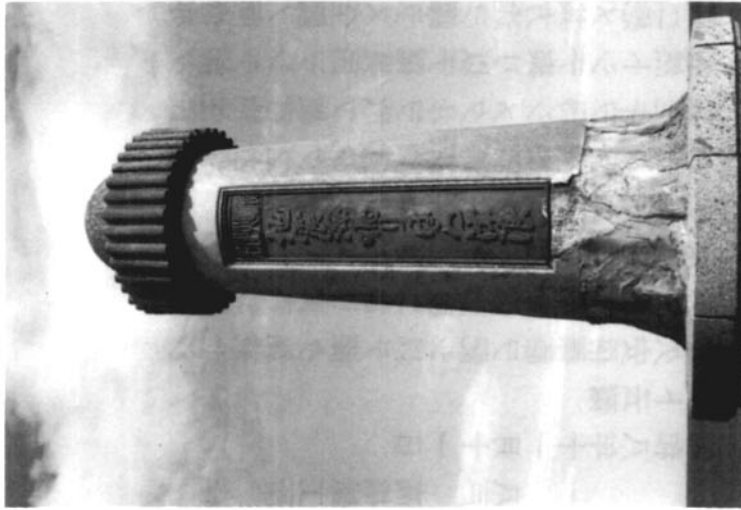
義捐品 三千六百五十個

發起人

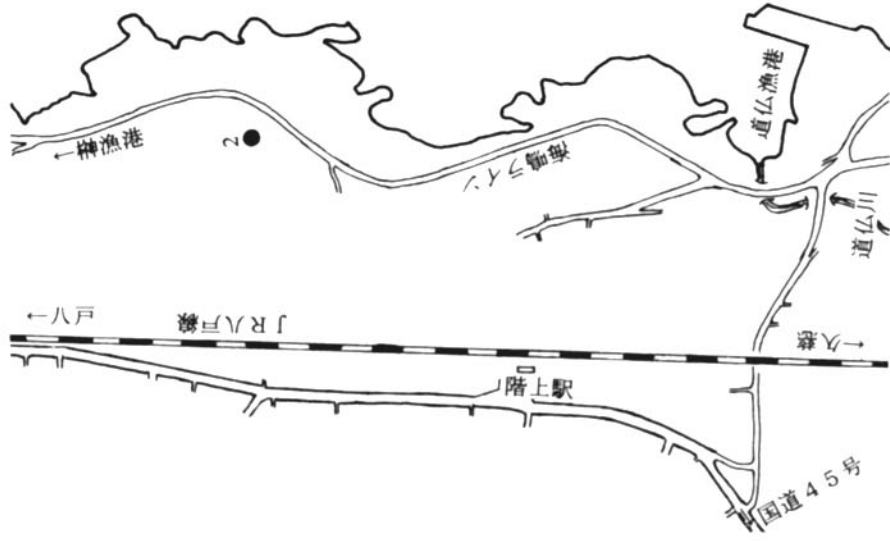
八戸警察署長 太田市太郎

同道佛駐在巡查 佐藤長三郎

タテ330ヨコ98アツサ98



階上一2 青森県三戸郡階上町榊山 榊漁港南



地震海鳴りほら津浪

(碑面裏)

震嘯災記念碑

維持昭和八年三月三日午前二時三十分
四十八秒突如トシテ強震アリ爾後半刻
ニシテ洋上遙カ大音響ヲ聞キ閃光ノ發
スルヲ見ルヤ間髪ヲ容レサルニ海嘯ノ
襲フ所ト爲ル怒濤天空ヲ摩シ摧ケテ地
上ヲ濯フ一瞬多數ノ生命ヲ奪ヒ財産ヲ
拉ス阿鼻叫喚ノ聲隨所ニ充テ其慘狀言
語ニ絶ス事

天聽ニ達シ畏クモ救恤ノ資ヲ賜フ
皇恩無窮感激ニ堪ヘス聖旨ヲ奉戴シテ
官民一致此間ニ處シ夜々トシテ之カ復
興ニ懋メ其方途ヲ謬ラス全國ノ同情亦
翕然トシテ聚リ以テ罹災民ヲシテ能ク
其全キヲ得シメタルヲ欣フ被害地住民
ハ永ク此災禍ヲ追想シ宜シク之カ警戒
ト豫防ニ努ムルノ要有ラン干

斯ニ東京朝日新聞社募集ノ義捐金ヲ以
テスル此記念碑建設ニ當リ青森縣知事
多久安信標語ヲ記シ以テ深ク銘戒セシ
ムト云爾

昭和八年十一月十一日

八戸 高橋鐵工所 作

テ
ヨ
ア
132
79
9



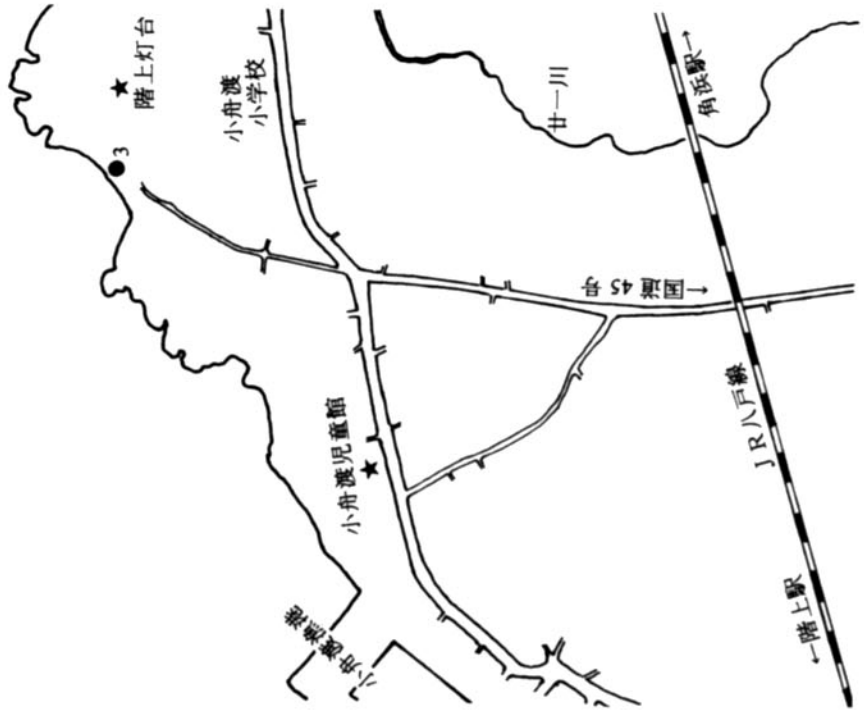
海嘯死亡者之碑

小幡茂義書

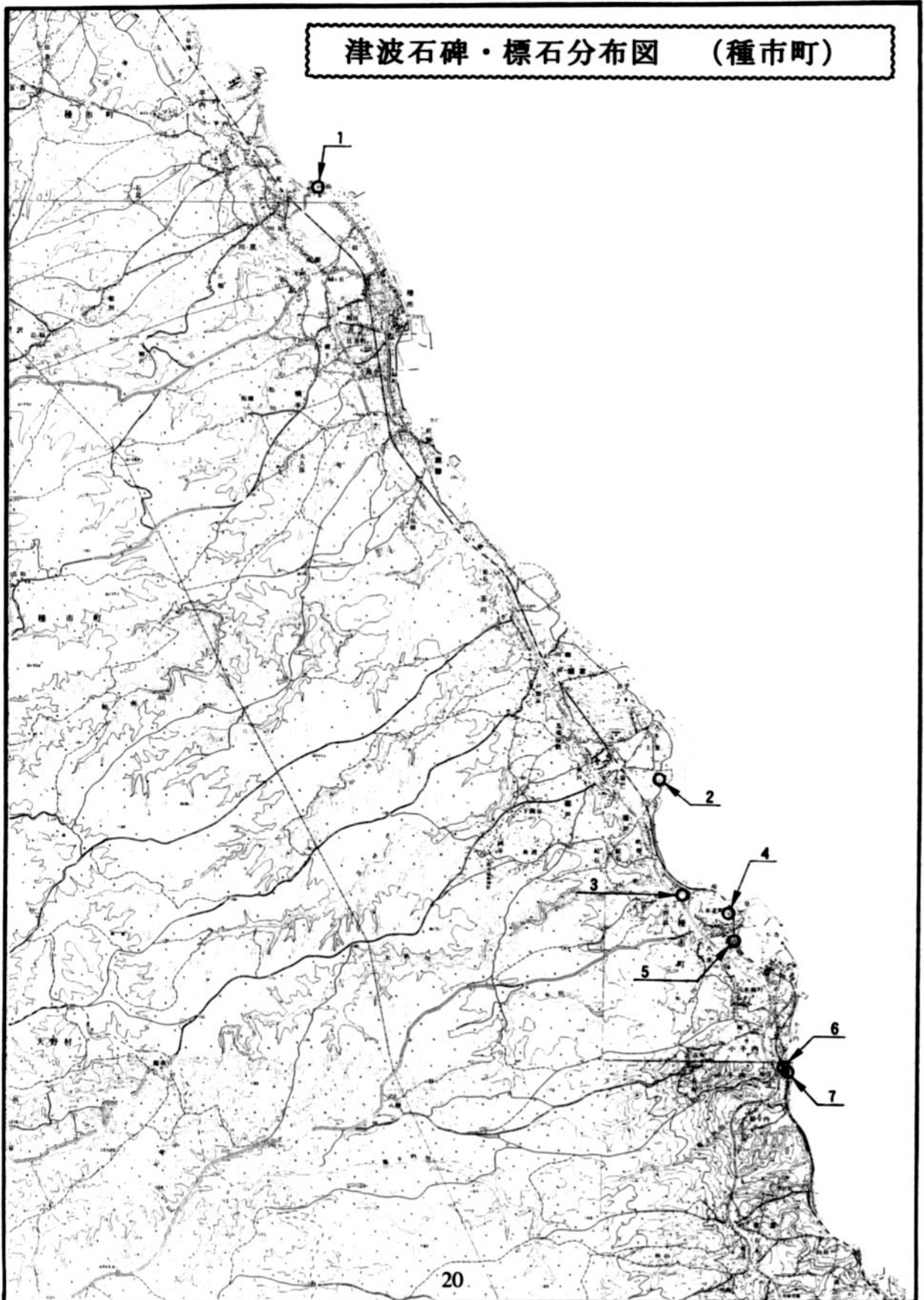
(碑面裏)

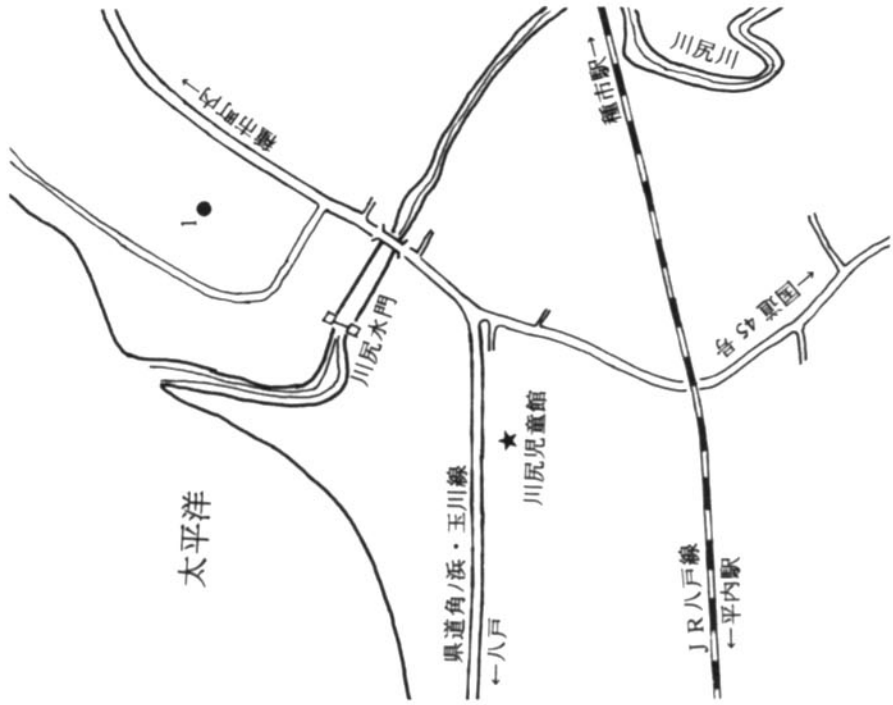
草前己之	長男	千太
小西若松	二男	定吉
戸主	田代右衛門次郎	
四男	豊吉	
戸主	工藤孫吉	
下長根梅吉	祖母	よね
中田岩松	妻	きわ
孫	福太郎	
孫	豊藏	
妻	はつ	
長根榮吉	婦	まつ
四男	岩松	
妻	さつ	
平島磯吉母	養子	石松
長女	ふじ	
長男	榮藏	
平山徳藏母	長男	榮藏
五女	とし	
四女	とみ	
二女	と	
		み系

階上一-3 青森県三戸郡階上町小舟渡 小舟渡小学校裏海岸



津波石碑・標石分布図 (種市町)





タテ 146 ヨコ 62 アツサ 13



不慮の津浪に不断の注意

昭和八年三月三日

午前三時二分

(碑面裏)

此ノ碑ハ東京朝日新聞社讀者カラ寄託サレタ
義捐金ヲ全社ガ各町村ニ分配シタ殘餘ヲ以テ
建設シタルモノデアル

死亡者

川尻流失 八戸

眞角福太郎

三十歳

金澤熊藏

三十歳

信田直三郎

二十歳

草場松藏

十八歳

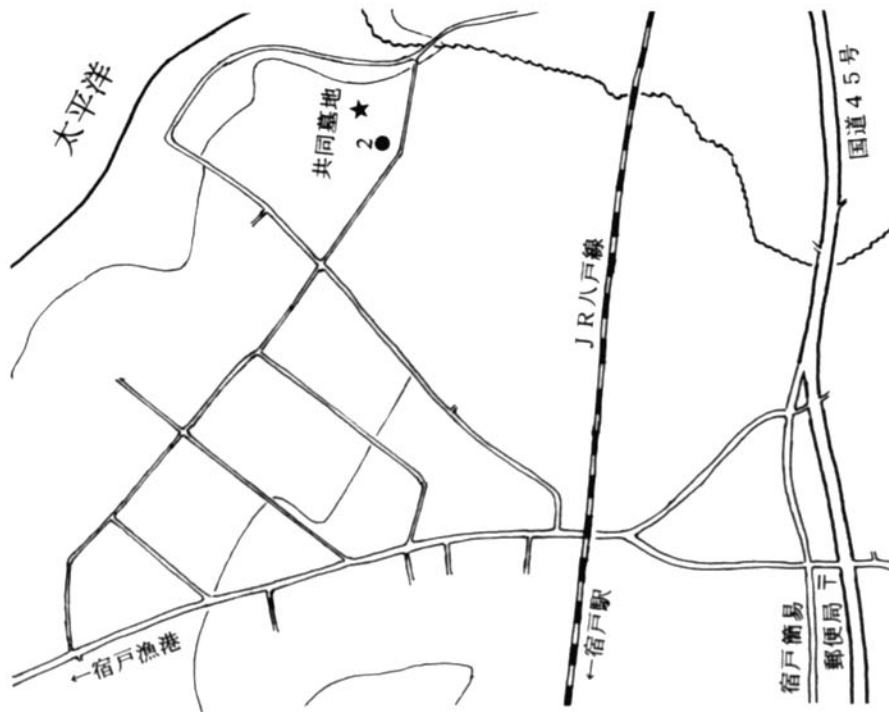
前野松次郎

十八歳

九戸郡種市村

昭和九年十二月建立

種市一 2 岩手県九戸郡種市町宿戸 共同墓地（海岸近く）



タ	テ	6
ヨ	コ	2
ア	サ	8
		1

大海嘯
罹災者
招魂碑

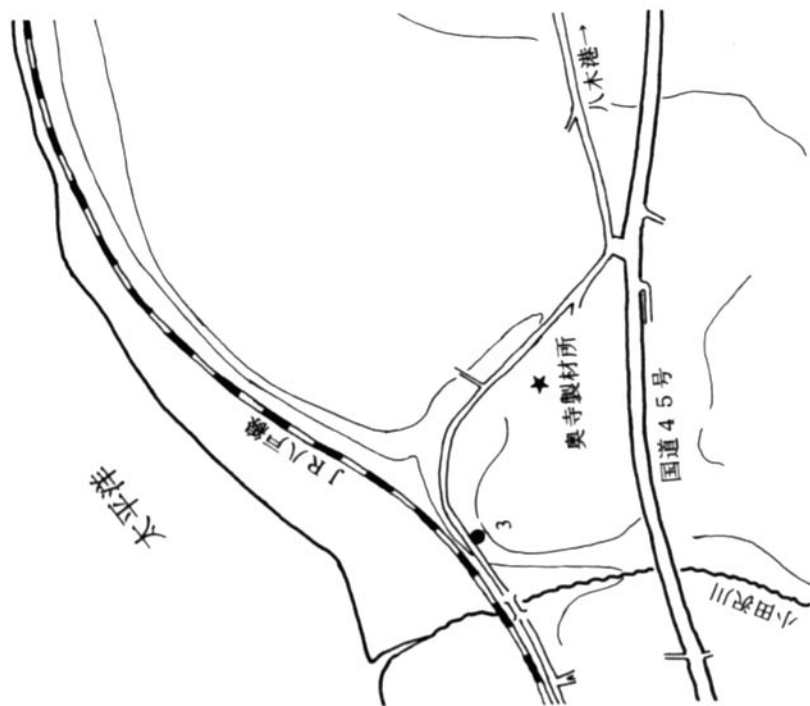
(碑面右横)
明治廿九年旧五月五日
爲海嘯罹災老幼男女

(碑面左横)
同年十月五日建之
宿戸 岡本松太郎

奥寺製材所近く

岩手県九戸郡種市町大浜

種市一三



タテ 123 ヨコ 92 アツサ 29



昭和八年三月三日
地震に氣を緊め
津浪に避難

午前二時五十五分

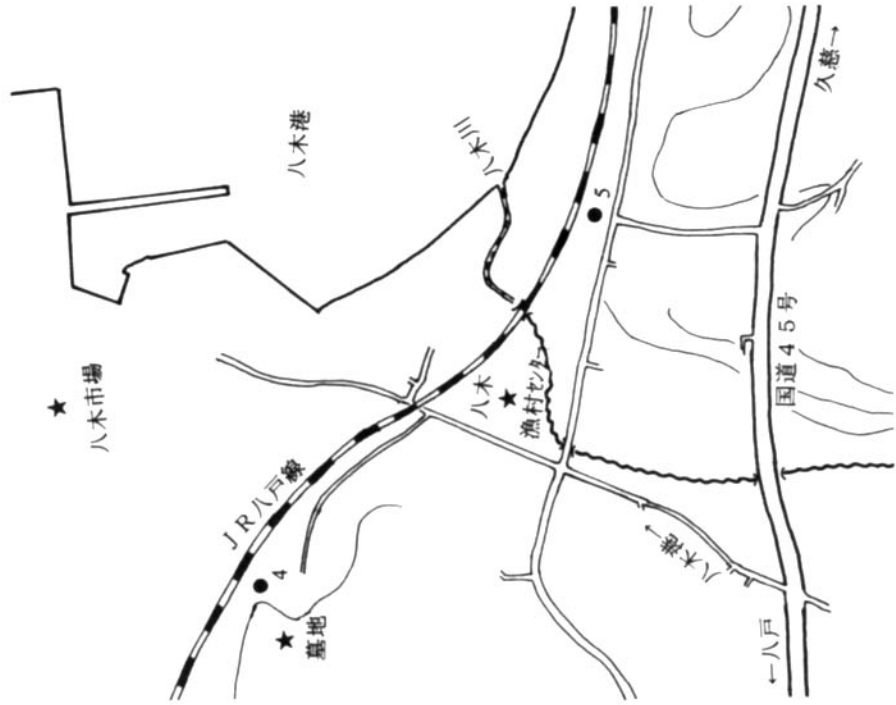
(碑面裏)
此ノ碑ハ東京朝日新聞社讀者
カラ寄託サレタ義捐金デ全社ガ
各町村ニ分配シタ殘餘ヲ以テ建
設シタモノデアル

大濱 死亡者 二十二名

流失 八戸

昭和九年十二月建立

- 種市一4 岩手県九戸郡種市町八木北町 共同墓地
- 種市一5 岩手県九戸郡種市町八木南町 小公園 (漁村センター南)



タ テ 2 5 3 ヨ コ 1 2 2 アツサ 2 9

種市一5

想へ惨禍の三月三日

昭和八年三月三日
午前二時五十二分

(碑面裏)

此八碑ハ東京朝日新聞社讀者
カラ寄託サレタ義捐金ヲ全社ガ
各町村ニ分配シタ殘餘ヲ以テ建
設シタモノデアル

八木 死亡者 九十一人

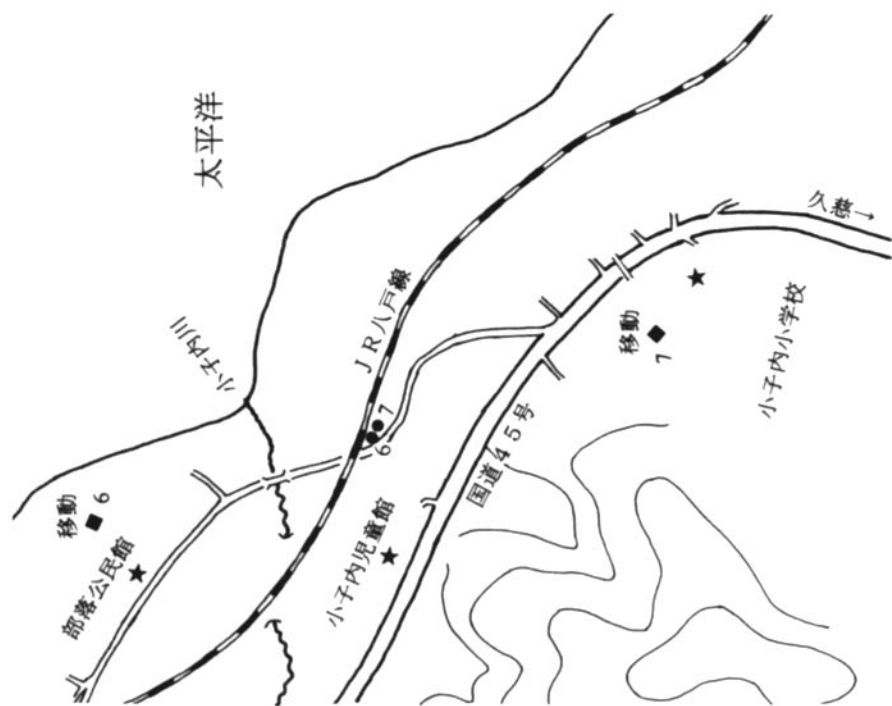
流失 三十七戸

昭和九年十二月建立



種市一6・種市一7

岩手県九戸郡種市町小牛内 JR八戸線架道橋脇



タテ 154 ヨコ 78 アツサ 18



種市一6

タテ 244 ヨコ 106 アツサ 17



種市一7

高見松太郎氏

頌
 安政六年生小牛内性温厚篤實農漁事業執心勉勵
 明治二十二年町村制施行以來村會議員三十有餘
 年同三十五年漁業法施行以來組合監事二十餘年
 平素率先計漁具改良衆示範明治二十九年舊五月
 五日津浪被害後私財爲擔保企圖蠲揚操網漁業
 公衆漁民共同興利益等其功德偉大也依而後世
 爲傳德建立此碑矣

(碑面裏)

津浪注意

明治二十九年旧五月五日午后八時
 高浪六十尺溺死者七十余名

昭和八年三月三日午前三時半
 高浪三十尺死者小牛内於八木六名

表彰者 中野村小子内 漁業組合
 同意者 中野村長 中村傳三郎

建立者 川崎富藏
 贊成者 荒井八十八
 同 小子内卷網組合

地震長きは
 津浪と思へ

昭和十一年旧三月三日建立

津
 式浪
 記
 陸念
 碑
 一、地震があつたら津浪の用心
 一、津浪が来たなら高い所へ
 一、あぶない所に家を建てるな

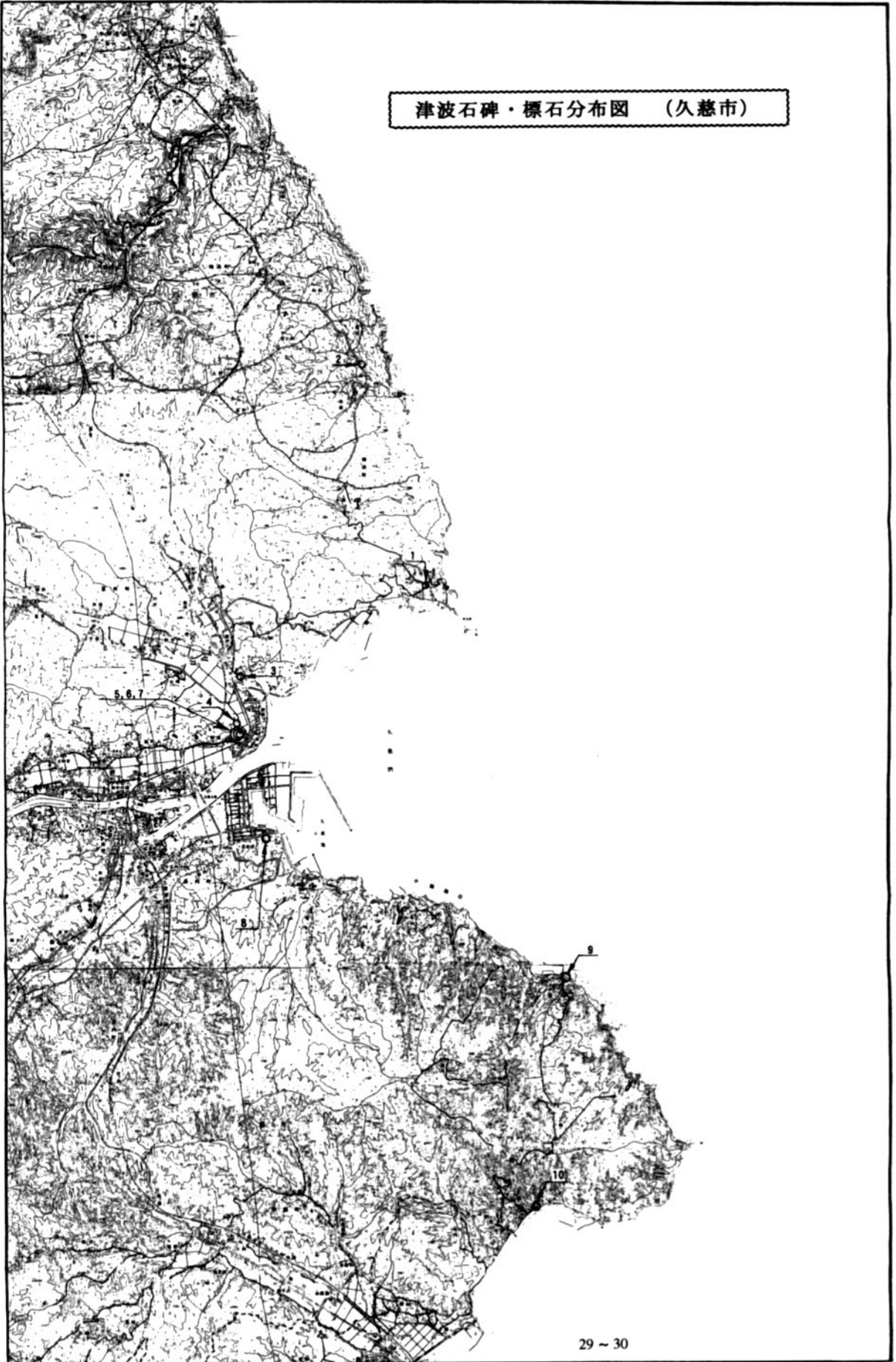
(碑面裏)

昭和八年三月三日午前二時三十分強震ガアリ續
 イテ三時津浪ニ襲ハレタ之ガ爲本村デハ死者六
 名家屋ノ流失倒壊六戸ヲ出シ漁船漁具其ノ他ノ
 被害モ亦甚大デアツタ

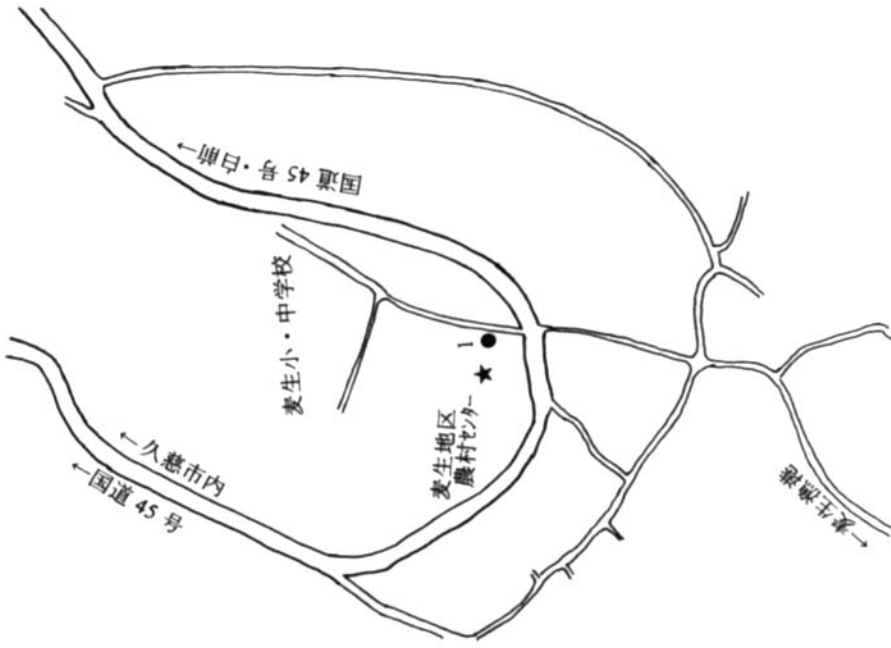
碑ハ東京朝日新聞社讀者カラ寄託サレタ義捐金
 ヲ同社ガ各町村ニ分配シタ殘餘ヲ以テ建設シタ
 モノデアル

昭和九年三月三日

津波石碑・標石分布図 (久慈市)



久慈一 1 岩手県久慈市侍浜町麦生 麦生地区農村センター

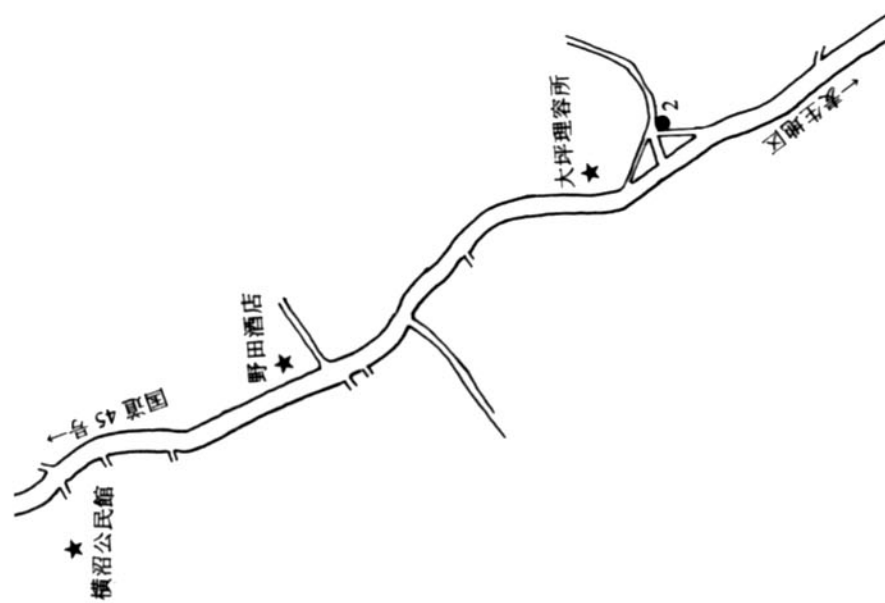


90
85
24
ア
コ
サ
タ
ヨ
メ



久慈一2 岩手県久慈市侍浜町白前

タテ 100
ヨコサ 90
アツサ 25



年八和昭
 碑念記浪津
 參以め大
 る左け津
 上追ぬ浪
 らひぬく
 ま進雄く
 しみ心
 英彦
 彦

(碑面裏)

昭和八年三月三日海嘯記録

御下賜金

左記死者 遺族拜授ス

小林清吉 小向民治 小向鉄三郎

各宮家御救恤金

村内罹災民拜受

縣扱義捐金配當 千七百三十圓

村扱義捐金 千二百二十圓

村内二於ケル被害左ノ如シ

船曳揚十一ヶ所 納屋四十七棟

漁船 百六十九艘

此損害見積額 九萬圓

港湾復旧費 二萬四百五十圓

復旧事業費

漁業復旧費 四萬八千三百六十圓

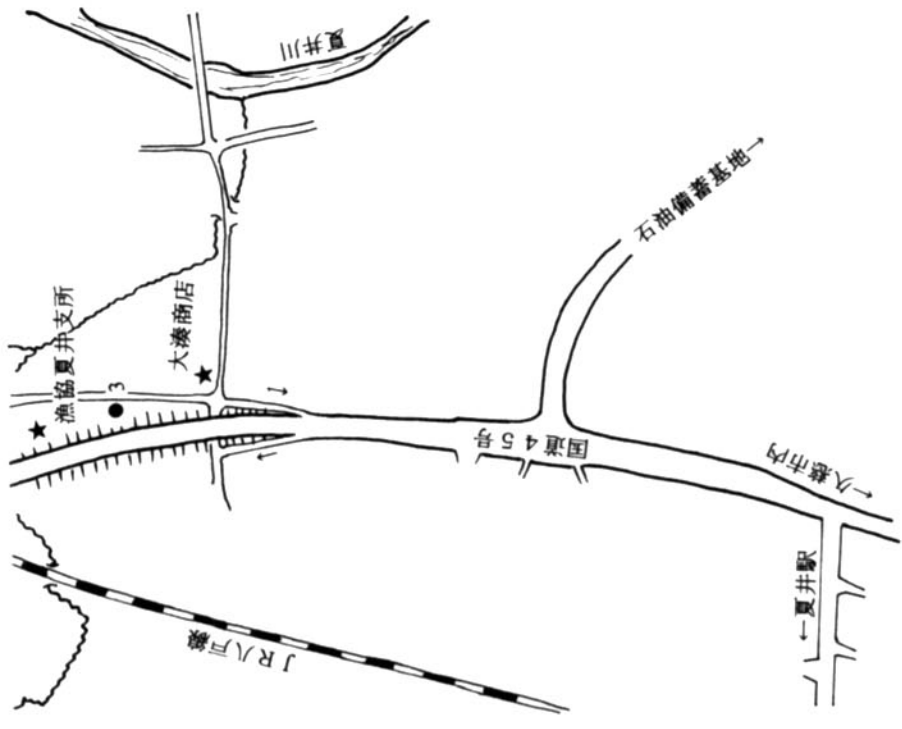
昭和九年三月三日

岩手縣九戸郡侍濱村役場

タテコサ
240
130
183



久慈一3 岩手県久慈市夏井町大崎 漁協夏井支所前



海嘯 紀念 碑

(碑面表 下段)

時維昭和八年三月三日午前二時四十八分偶々震天
 駭地強震アリ 俄力二人心恟々トシテ明治二
 十九年大海嘯ヲ想起右顧左◆◆ル中全◆◆◆◆
 ◆◆◆海中暈カニ方雷ノ振動ト共ニ殆ント避◆◆
 還モナク海嘯襲ヒ來リ忽チニシテ海岸一帯ノ漁
 舍漁具流失シテ其ノ雙影ヲ止メス
 其ノ状酸鼻ヲ極メタリ損害亦甚大ナリ◆ 雖是
 レヲ往年ノ三陸大海嘯ノ其レニ比セシカ 家屋
 納屋等倒潰流失數ナヲ算スルモ人家流失一
 溺死者一名ニ止マル是レ被災中ノ幸事ト謂フヘシ
 災後ニ於テ全國的ノ同情ヲ蒙リ就中東京朝日新
 聞社其ノ他關係要路特志者ノ厚キ同情ニ依リ
 莫大ナル義捐金品ノ贈與ニ預リ各種ノ救濟ヲ完
 フシ今ヤ復興甦生ノ第一歩ヲ踏出シヲ得タルハ
 是レ偏ニ各位ノ賜物ト本村ハ感激措ク能ハサルト
 コロナリ 尚東京朝日新聞社ヨリ岩手縣ヲ經テ
 特ニ記念碑建設費ヲ寄贈セララル 茲ニ碑ヲ建テ
 永ク之ヲ傳ヘントス爾云
 回顧スレバ明治二十九年六月十五日午後六時四十分ノ大海嘯ハ
 今次ノ海嘯ノ十數倍ノ高浪怒濤ノ襲フアリ人畜ノ死傷附
 近ノミニテ二百餘 家屋住宅等ノ流失全滅シタル殆ント
 四百餘戸ニ及ヒ其ノ慘轉斷腸ノ感アリ記シテ傳フ
 昭和九年一月三日 建立
 九戸郡夏井村
 地主 大湊 徳太郎 永遺無料

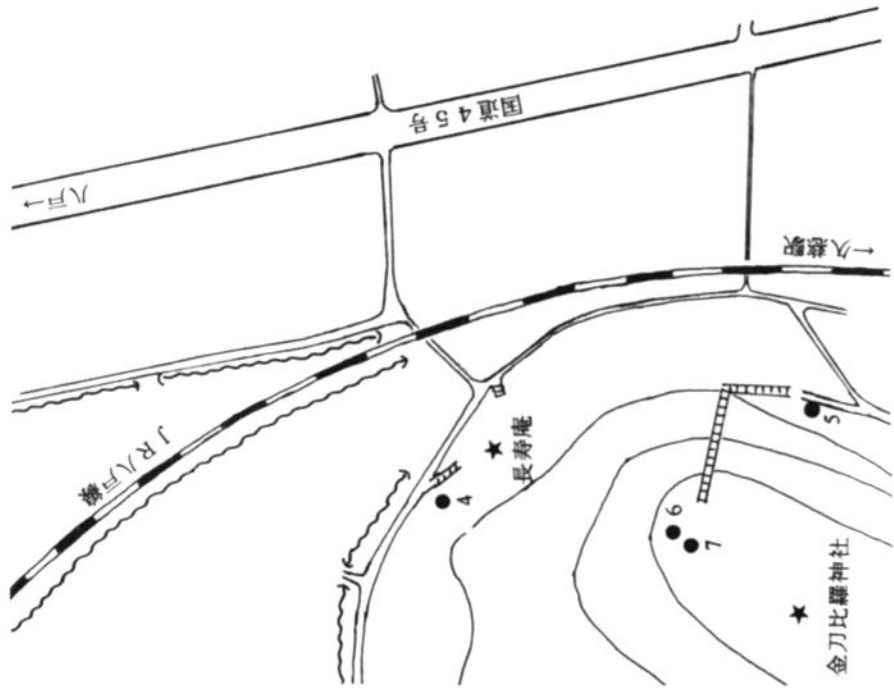
長寿庵

久慈一4 岩手県久慈市湊町

久慈一5・久慈一6・久慈一7

金比羅神社

岩手県久慈市湊町



タ	テ	2	7	5
ヨ	コ	上	6	0
		下	9	9
アツサ			3	0

久慈一4

海嘯溺死者記念碑



岩手県知事 千田 正書

津波記念碑

タテ 122 ヨコ 327 アツサ 24

(碑面裏)

久慈-5

碑文

自然界における災害のなかで 津波ほど悲惨なものはない 過去において本市に襲来した記録は十八回に及び特に明治二十九年、昭和八年は死者 総数五三八人 負傷者二百六十七人 家屋流失一八五戸を 数え想起するだに慄然たるものがある 市は悲惨なる災害から市民を護るため 昭和三十八年防浪堤を構築した しかしながら かくの如き津浪犠牲 になられた方々の慰霊の碑の無きことを 遺憾とせられた兼田忠二郎氏等の発願 により慰霊碑を建立することになった われわれは 殉難者の霊を慰めると共に 宿命的な惨事を再び繰り返えさぬことを 祈念してやまないものである

昭和四十六年五月

久慈市長 山内 勇文



タテ 105 ヨ コ 60 アツサ 16

久慈 16

昭和拾參年參月竣工

防潮林記念碑

漢部落発起者建之

(碑面裏・上段)

明治廿九年昭和八年ノ海嘯慘害ノ甚大ナルニ鑑ミ時ノ政府ハ
 之方防止策トシテ防潮林造成ノ最モ経済的且効果的ナルヲ認メ
 國庫補縣營事業トシテ計画ヲ樹立セリ然シナガラ當部落ハ耕地
 少ク且住家多ク用地ノ承諾ヲ得ルニ困難ナリシモ縣當局ハ勿論町並部
 落有志者ノ援助ノ基ニ専ラ高井枝手接渉ノ重ネ愈昭和十二年十月
 設計金壹万六千餘円ヲ以テ事業ニ着手シ面積參町余里黒松貳万參
 千本栽植翌年三月竣工セリ茲ニ概略ヲ記シ後世ニ遺サントス

昭和拾參年四月十四日

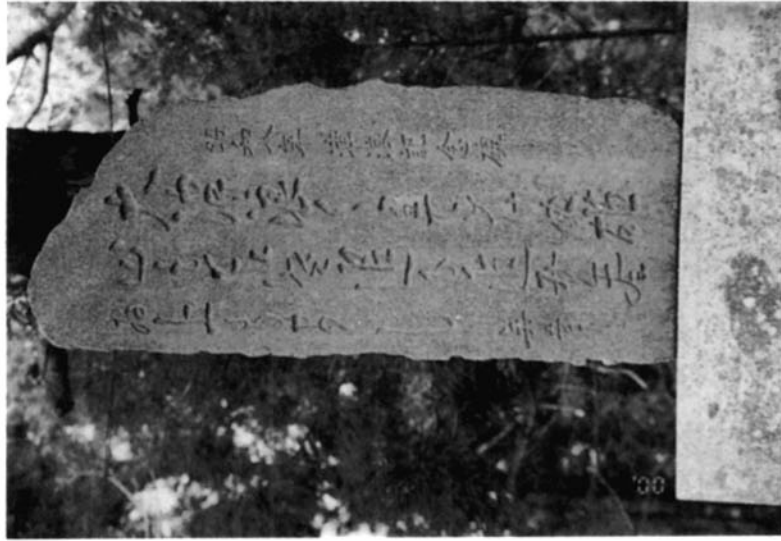
工事主任 ◆◆ 枝手 高井 健一 発 兼田 忠吉 高木 貢一郎 小向 清治 大石 吉松
 工事監督 石川 孝一 起 松前 岩藏 佐々木 專之助 佐々木 ◆ 一郎
 久慈町長 兼田 ◆ 一郎 人 嵯峨 清貴 小向 福藏 久慈 新 郎

(碑面裏・下段)

被害ノ対照

溺死者	ナシ	四〇〇
負傷者	一	一九〇
建物流失	三七	二二一
船舶流失	六六	七二
總損害額	四九七三四円	八二三〇九円
潮位	干潮	満潮
波高	六米七〇	一五米七〇

久慈町長 三船米藏



タテ 155 ヨ コ 65 アツサ 15

久慈 一 七

昭和八年津浪記念碑

大津浪くゞりてめげぬ雄
 心もて以左追ひ進み参
 る上らまし英彦

(碑面裏)

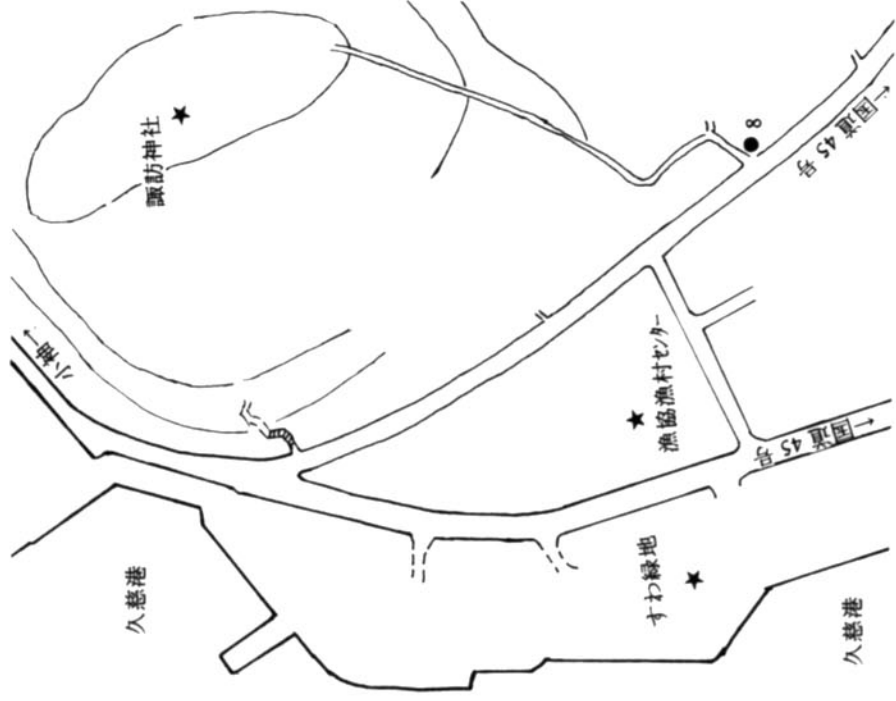
維時昭和八年三月三日晚二時半俄然激震起
 り海嘯轟然前ノ海嘯ニ體驗セル部落民海嘯
 襲來ナルヲ直觀シ避難スルヲ得タリ直ニ救援
 出動隊巖島艦慰問ノ來港ヲ見ル明治廿九年ノ
 三陸大海嘯ニ比シ人畜ノ被害僅少ナレド船舶粉
 碎納屋流失ノ被害亦尠カラス今被害ノ対照ヲ
 下ニ記ス
 被害の趣畏モ 天聽ニ達スルヤ御内帑金ヲ
 賜ハハリ親シク大金侍從御差遣アラセラレ三月
 十日湊小學校ニ於テ優渥ナル 醫旨ノ御傳
 達ヲ賜フ集フ部落民惶懼感泣ス外宮家ヨ
 リノ御慰問金アリ以テ大國旗に替へ毎年三月
 三日ニ掲揚シ永ク記念スルモノナリ
 東京朝日新聞社ノ以奇贈 昭和九年十月十七日

建之碑

諏訪神社入口

岩手県久慈市長内町

久慈一8



タテ 215 ヨ コ 103 アツサ 29



昭和八年津浪記念碑
 大津浪くゞりてめげぬ雄心
 もて以左追ひ進み参る
 上らまし 英彦

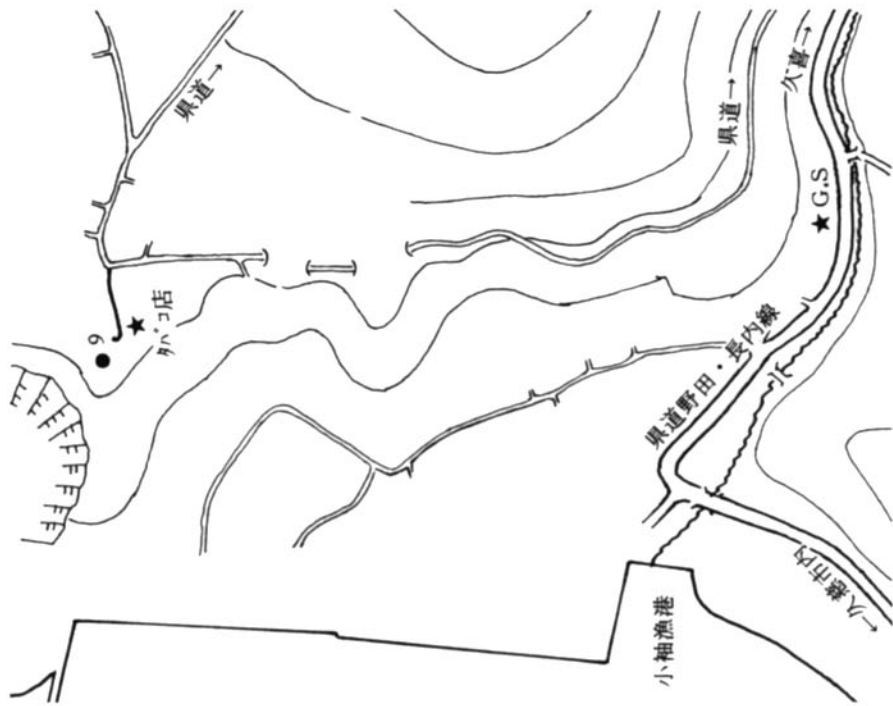
(碑面裏)

昭和八年三月三日午前二時半俄然激浪と共尔津浪の襲来に遇ひ全漁村乃被害甚大にして溺死者拾名負傷者五名損害額十二万円事畏くも散聞に達し本村の邊陲に迄侍従を御派遣慰恤あらせらる誠尔感銘に堪春又全國民乃同情欽然として集る茲尔村民奮励努力以て災後能復興を誓ふ

朝日新聞の同情義捐金に因り建設
 昭和十一年三月三日

長内村長 中野芳樹
 小田天山書

久慈一9 岩手県久慈市宇部町小袖 大向宅裏



テ 203
 ヨ 97
 アツサ 22



昭和八年津浪記念碑
 大津浪くゞ里てめげぬ雄
 心もて以左追ひ進み參る上ら
 まし
 英彦

(碑面裏)

維持昭和八年三月三日舊二月八日午前三時四十八分突如強震アリ洋上遠ク
 爆音ヲ聞キシヨリ僅ニ半刻ノ後天ヲ摩スル怒濤閃光ヲ帶ビテ陸岸ヲ襲ヒ一時ニ
 テ幾多ノ生靈ヲ奮ヒ財寶ヲ攫フ其ノ慘狀言語ニ絶ス
 天聽ニ達シ畏クモ勅使ヲ差遣ハサレ救恤ノ資ヲ賜フ 天恩洪大眞ニ感
 二堪ヘス我縣官民協力一致シテ克服ク其ノ救護ニ仕シ夜々トシテ復興ニカノ全
 國朝野ノ同情亦翕然トシテ周聚リ以テ罹災民ノ飢寒ヲ救ヒ舊容ヲ復スルヲ得タリ
 津浪ハ往古ヨリ周期的ニ襲來スト聞ク被害地住民ハ永ク此災禍ヲ追憶シ宜シク
 向後ヲ警戒スルノ覺悟アルヲ要ス
 爰ニ東京朝日新聞社寄贈ノ義捐金ヲ以テ此碑ヲ建設シ永ク之ヲ記念シ且ツ將來
 ノ鑑戒シ爲ス所以ナリ

昭和九年三月三日

死亡者數 九名

流失戸數 四戸

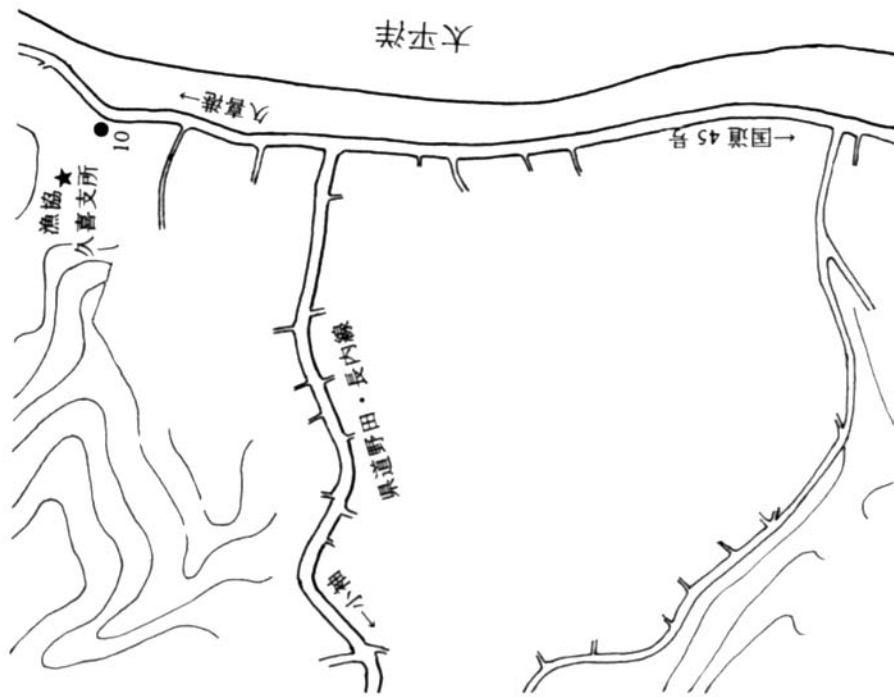
岩手縣知事 石黒英彦
 宇部村長 宇部孫太

強い地震は津浪の報せ

久慈一10 岩手県久慈市宇部町久喜

タテ 205ヨ コ92 アツサ 26

農村センター・農協久喜支所



昭和八年津浪記念碑

大津浪くゞ里てめげぬ雄
心もて以左追ひ進み參る上ら
まし

英彦

(碑面裏)

維持昭和八年三月三日舊二月八日午前三時四十八分突如強震アリ洋上遠ク
爆音ヲ聞キシヨリ僅ニ半刻ノ後天ヲ摩スル怒濤閃光ヲ帶ビテ陸岸ヲ襲ヒ一時ニ
テ幾多ノ生靈ヲ奮ヒ財寶ヲ攫フ其ノ慘状言語ニ絶ス
天聽ニ達シ畏クモ勅使ヲ差遣ハサレ救恤ノ資ヲ賜フ 天恩洪大眞ニ感
ニ堪ヘス我縣官民協力一致シテ克ク其ノ救護ニ仕シ孜々トシテ復興ニカノ全
國朝野ノ同情亦翕然トシテ周聚リ以テ罹災民ノ飢寒ヲ救ヒ舊容ヲ復スルヲ得タリ
津浪ハ往古ヨリ周期的ニ襲來スト聞ク被害地住民ハ永ク此災禍ヲ追憶シ宜シク
向後ヲ警戒スルノ覺悟アルヲ要ス
爰ニ東京朝日新聞社寄贈ノ義捐金ヲ以テ此碑ヲ建設シ永ク之ヲ記念シ且ツ將來
ノ鑑戒シ爲ス所以ナリ

昭和九年三月三日

死亡者數

九名

流失戸數

四戸

岩手縣知事

宇部村長

石黒英彦

宇部孫太

強い地震は津浪の報せ

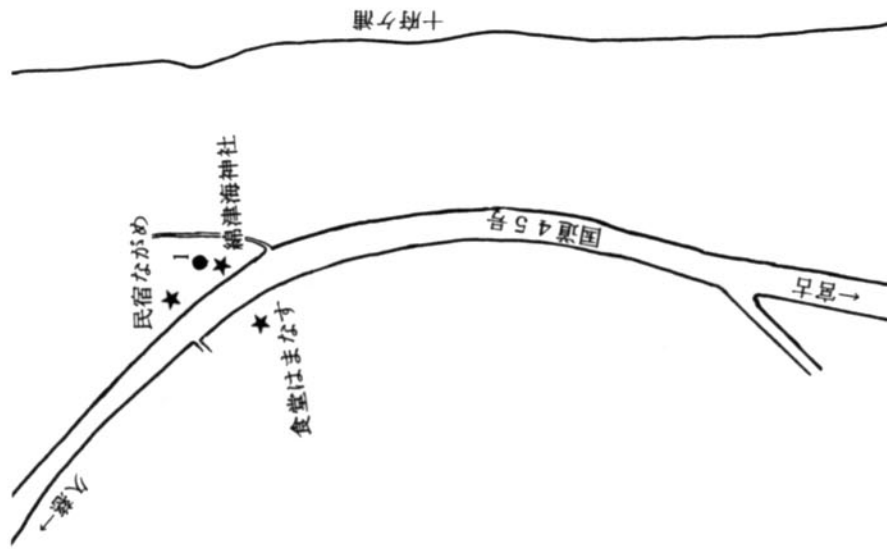
津波石碑・標石分布図 (野田村)



タテ 272 ヨ コ 105 アツサ 29



野田一1 岩手県九戸郡野田村十府ヶ浦 綿津海神社



野田 1

津浪記念碑

(碑面裏)

發震時昭和八年三月三日午前二時三十分

津浪襲來 同年同月同日午前二時五十九分

波 高 十八尺

被害總額 二十八萬一千四百五十円

世帯戸數 六十二戸

死亡者 八名

負傷者 七名

生存者 三百十九名

浸水世帯數 四十三戸

昭和九年八月三十一日

東京朝日新聞社寄贈金 建設

流失數

住家

五十八棟

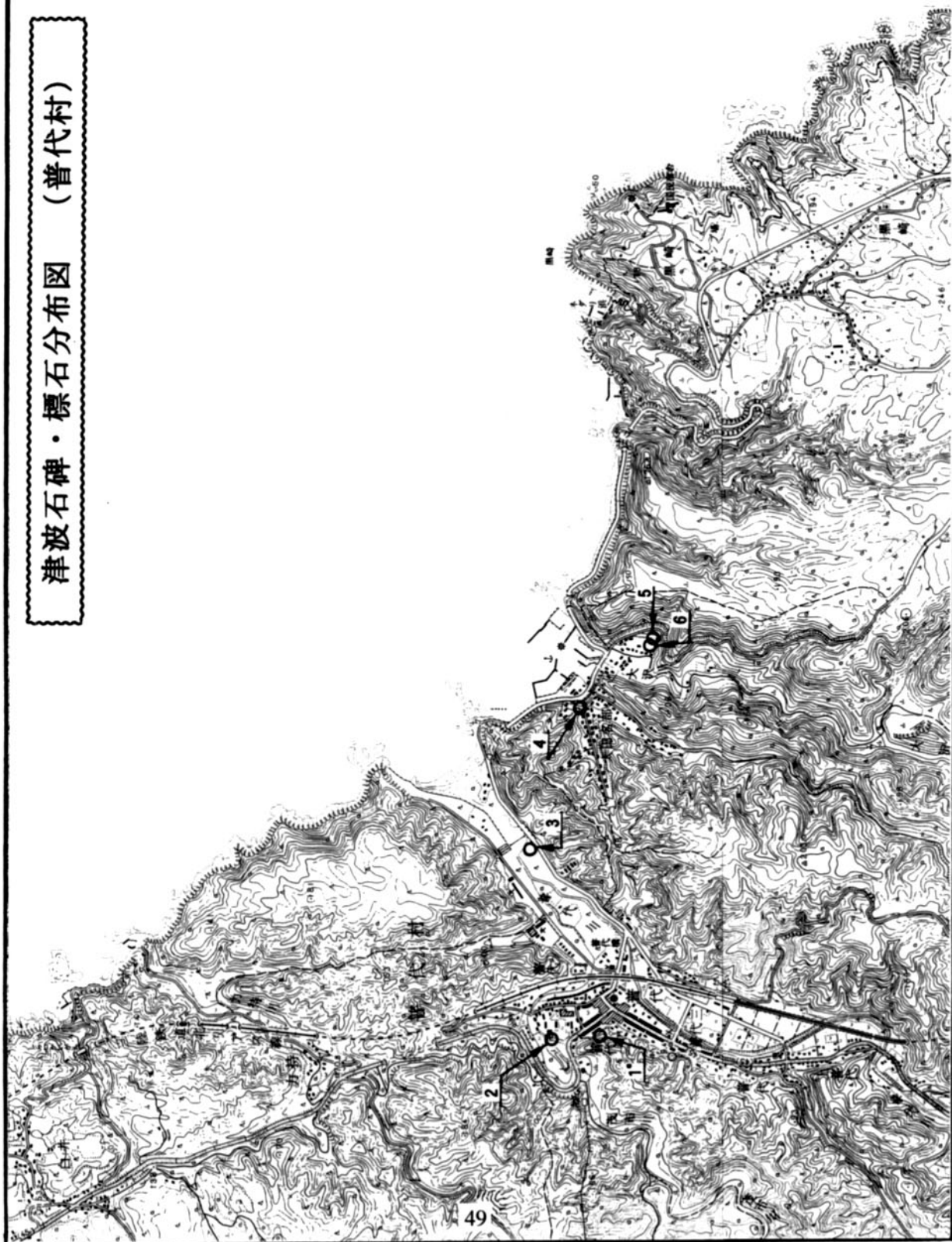
倉庫

八十棟

其他

六十四棟

津波石碑・標石分布図（普代村）



普代一 1 岩手県下閉伊郡普代村横町 島山宅裏山
 普代一 2 岩手県下閉伊郡普代村普代 妙相寺



タ テ 220 ヨ コ 100 アツサ 20



普代一 2

タ テ 245 ヨ コ 120 アツサ 19



普代一 1

大

海

嘯

記

念

- 一、大地震の後には津波が来る
- 一、地震があつたら高い所へ集る
- 一、津波に追はれたら何處でも比所位の高い処へ

- 一、遠くへ逃げては津波に追付かる
近くの高い所を用意して置け
- 一、縣指定の住宅適地より低い所へ家を建てるな

石巻市 石井敬三郎刻

(碑面裏)

昭和八年三月三日午前二時三十分上下二動揺ス
 ル強震アリ續イテ三時頃ヨリ大音響ト共ニ大海
 嘯ノ襲來アリ三時十分頃最モ被害アリ
 普代村ノ流失戸數七十八戸溺死者百三十五名負
 傷者八十一名
 本碑ハ東京朝日新聞社讀者ヨリ寄託セラレタル
 義捐金ヲ全社ニ於テ罹災者町村ニ分配セシ殘金
 ヲ重テ分配セラレ其金員ヲ以テ建設セシモノ也
 昭和八年八月 下閉伊郡 普代村建立

三月三日

昭和八年

旧二月八日

午前三時十分海嘯襲來

三陸大海嘯

溺死者

供養塔

諸精靈

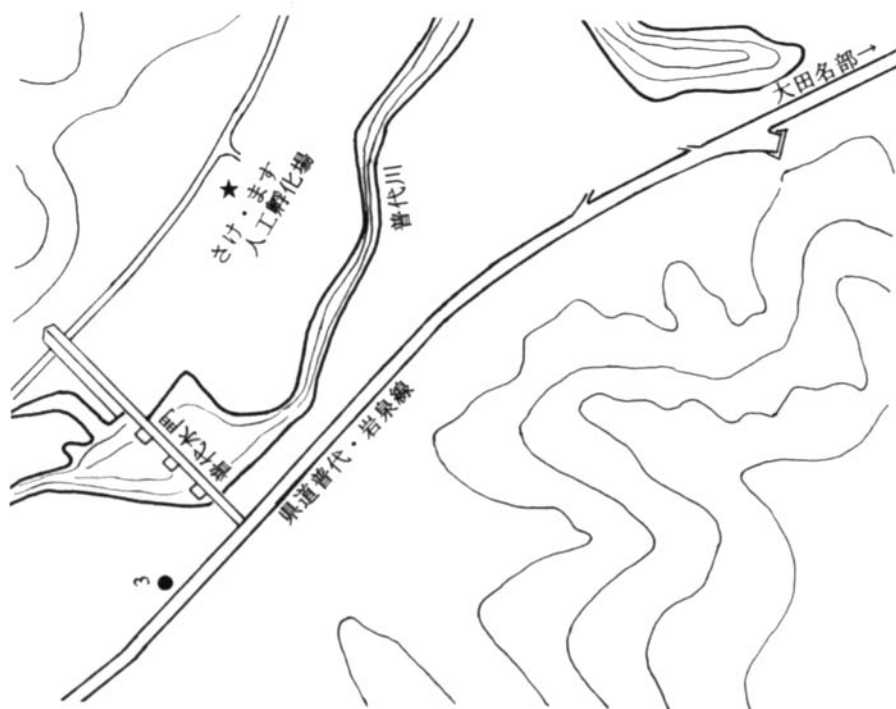
普代村流失戸數七十八戸 溺死者數百三十五名

石巻市 石井敬三郎刻

(碑面裏)

本供養塔ハ全國各地ヨリ寄託セラレ
 タル義捐金ノ内ヨリ特ニ海嘯溺死者
 慰施設費トシテ指定シ縣ヨリ配
 當セラレタル義捐金ノ内ヲ以テ建設
 セシモノナリ
 昭和八年八月 下閉伊郡普代村 建立

普代一3 岩手県下閉伊郡普代村明神 普代川水門前



タテ150ヨコ181アツサ125



津波防災之碑

鈴木善幸書

(碑面裏)

(イ) 明治29年6月15日(陰曆5月5日)に発生した津波はわが国史上に於ける最大級の津波であった。

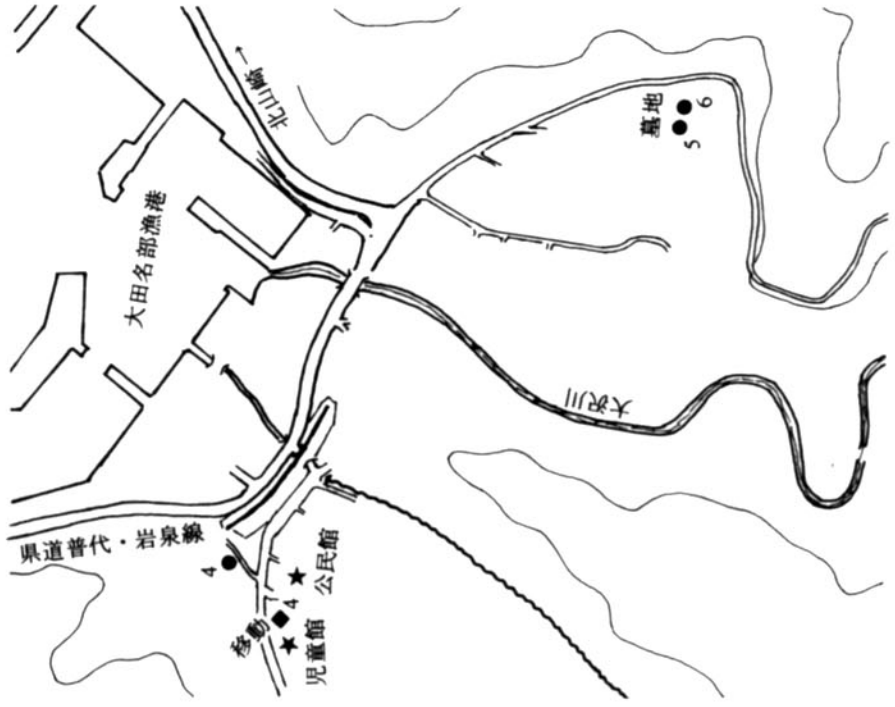
本村の被害は死亡行方不明者 1,010人 流失倒壊家屋 258戸
船舶の流失破損等被害甚大であった (岩手県土木課取纏めの災害土木誌参照)

(ロ) 昭和八年三月三日 午前2時30分頃釜石市の東方約140kmの地点で
発生した大地震により約40分后襲来した津波による惨害は言語に絶
するものであった 本村の死亡行方不明者 137人 (中央气象台発行津波報告による)
家屋の流失倒壊は201戸 (三陸津波被害復興計画報告書による)

其他船舶の流失破損被害甚大

(昭和59年5月8日普代水門竣工を記念し建之)

- 普代一4 岩手県下閉伊郡普代村大田名部 ボンブ小屋横
- 普代一5 字上の山 共同墓地 (坂下家)
- 普代一6 字上の山 共同墓地 (太田家)



普代一4

タテ 190 ヨ コ 88 アツサ 16



明治二十九年
津波記念塔
昭和八年

注意事項

- 一、大地震の後には津波が来る
- 一、地震があつたら高い所へ集まれ
- 一、津波に追はれたらどこでも此所位より高い所へ
- 一、速くへ逃げては津波に追付かる
- 一、近くの高い所に用意して置ける
- 一、県指定の住宅適地より低い所へ家を建てるな

(碑面裏)

明治二十九年丙申年旧五月五日午後八時

大津波襲来普代村の被害流失

家屋七十八戸 死者三百四十三名 負傷
百五十八名

昭和八年三月三日午前二時三十分上下

に動揺する強震あり続いて三時頃より大音

響と共に大津波の襲来あり三時十分頃

最も被害あり普代村の流失戸数七十八戸

死者百三十五名 負傷者八十一名

昭和五十五年八月吉日

下閉伊郡普代村大田名部々落建之



普代 15

明治廿九年丙申年旧五月五日大海嘯溺死

厚舟庵丹山良通居士	祖父	坂下丹藏	七十四歳
喜性庵宗説泷寿大姉	祖母	下サキ	七十七歳
纒網庵千岩賢孝居士	父	坂下千藏	四十四歳
清光庵眞圓妙相大姉	母	サキ	四十三歳
節心庵浄安貞印大姉	妻	サメ	十九歳
元秀清光大姉	妹	サワ	十五歳
法影清良童女	全	スワ	十一歳
昭光清幻孩女	全	トミ	三歳
千藏長男		坂下豊治	建之
同次男		坂下助藏	

明治二十九年旧五月五日午后八時大海嘯死亡

空意妙壽大姉 母 太田クニ 八十六歳

清光妙月大姉 姉 フサ 二十三歳

月林示光大姉 三女 トメ 十八歳

路光 嬰亡 長孫 源次郎 二歳

施主 太田源之助

(墓石裏)

宮城縣 罹災 一千八百八十四戸 普代村流失

死者 三千三百十四人 内 元 村 三十二戸

岩手縣 罹災 六千八百八十六戸 家屋七十八戸 大田名部 四十戸

死者 二万五千四百十三人 溺死三百四十三人 同 二百人 水害地 五十余町歩

青森縣 罹災 四百八十四戸 他部 同 四十二人

死者 三百四十六人 死体埋葬 六十八人

男 二十二 女 四十六 外流失不明

損害 約二十万二千五百余円也

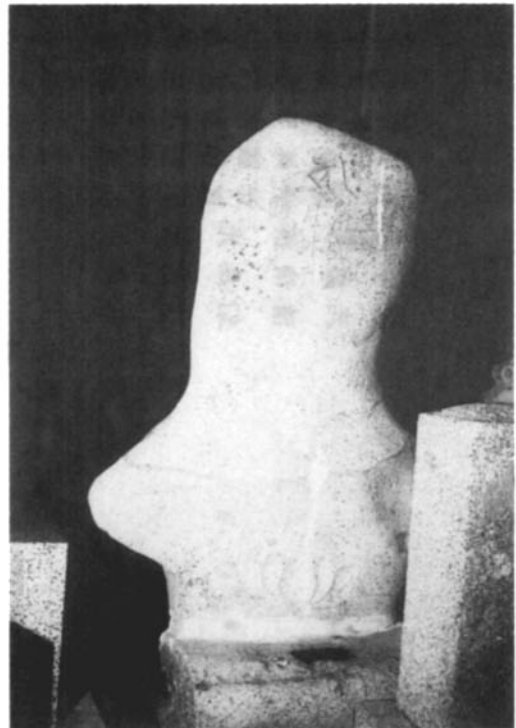
(墓石左脇)

大謀千藏弟子

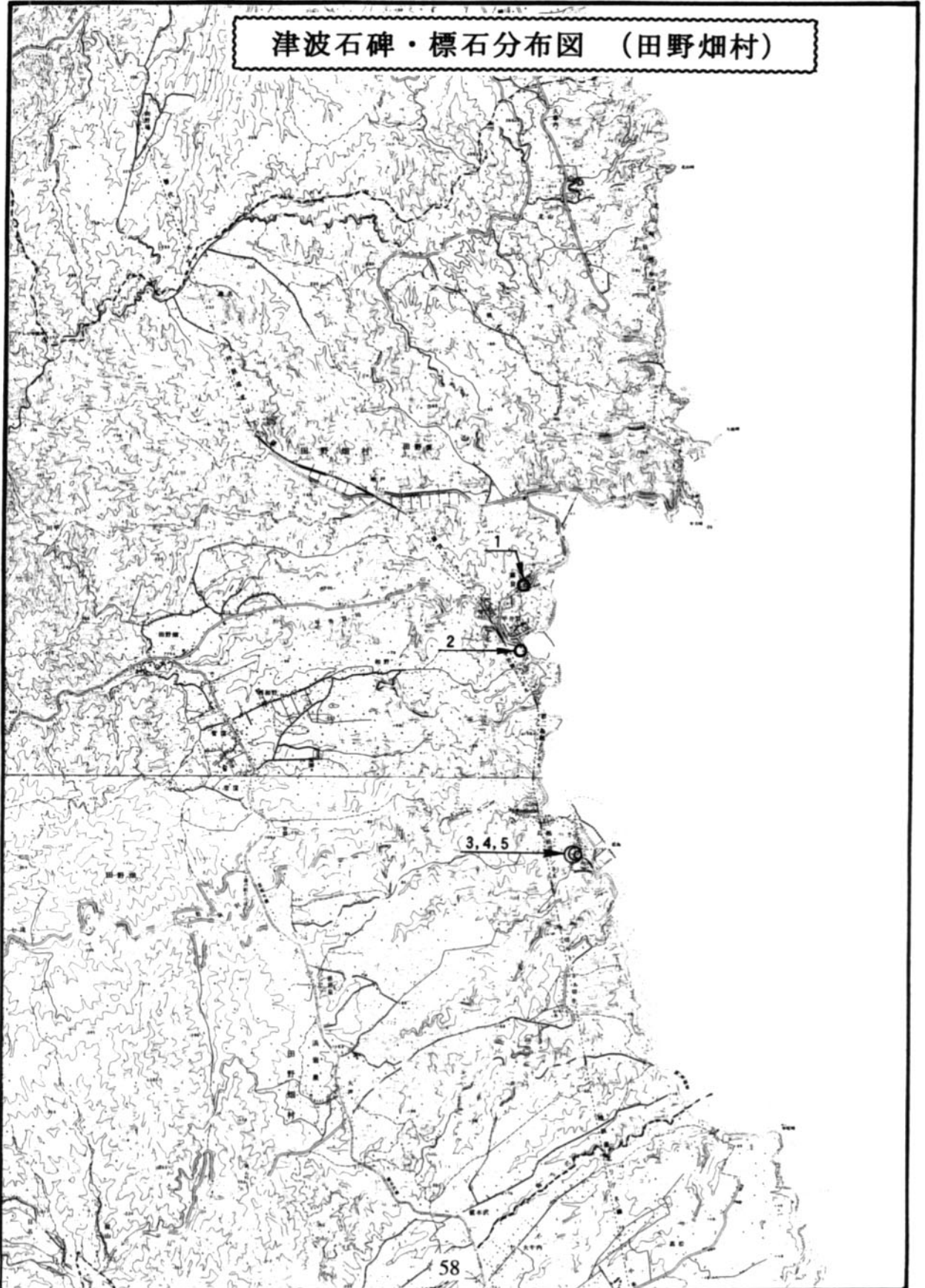
世話人 太田巳之太

明治二十九年

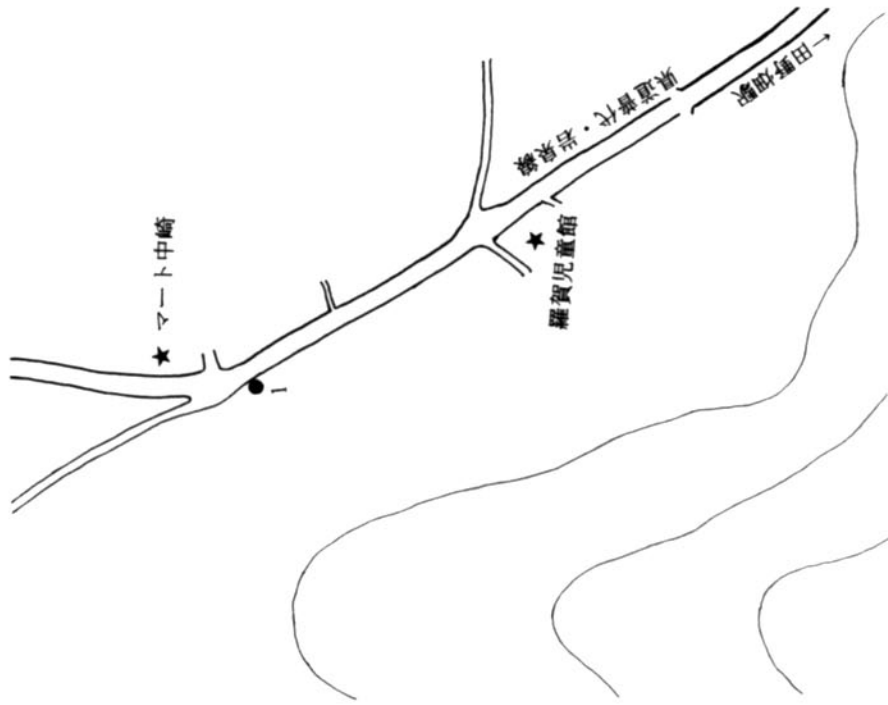
旧五月五日午后八時 三陸大海嘯罹災紀念



津波石碑・標石分布図 (田野畑村)



田野畑 1-1 岩手県下閉伊郡田野畑村羅賀 中崎マート前



タテ 170 ヨ コ 80 アツサ 27



田野畑 1-1

大海嘯溺死者招魂碑

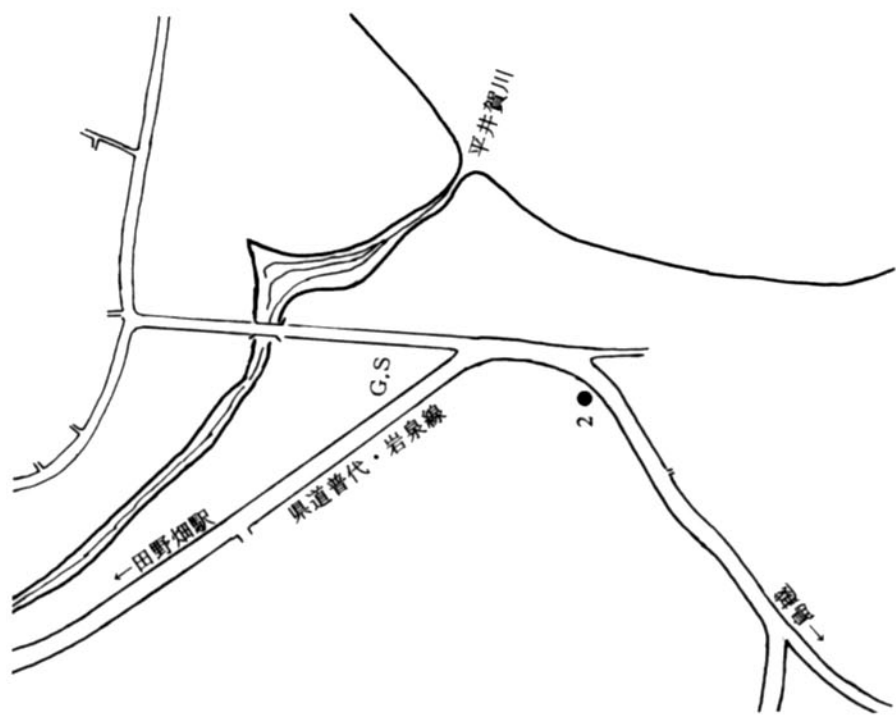
明治二十九年

◆ 五月十五日 死亡 九十八名

五月五日 流家 十九戸

當村

田野畑一2 岩手県下閉伊郡田野畑村平井賀 県道沿い



タテ230ヨココ95アツサ17



昭和八年三月三日
津浪記念碑
大津浪くゞりてめけぬ
雄心もて以左追ひ進み
参る上らまし

英 彦

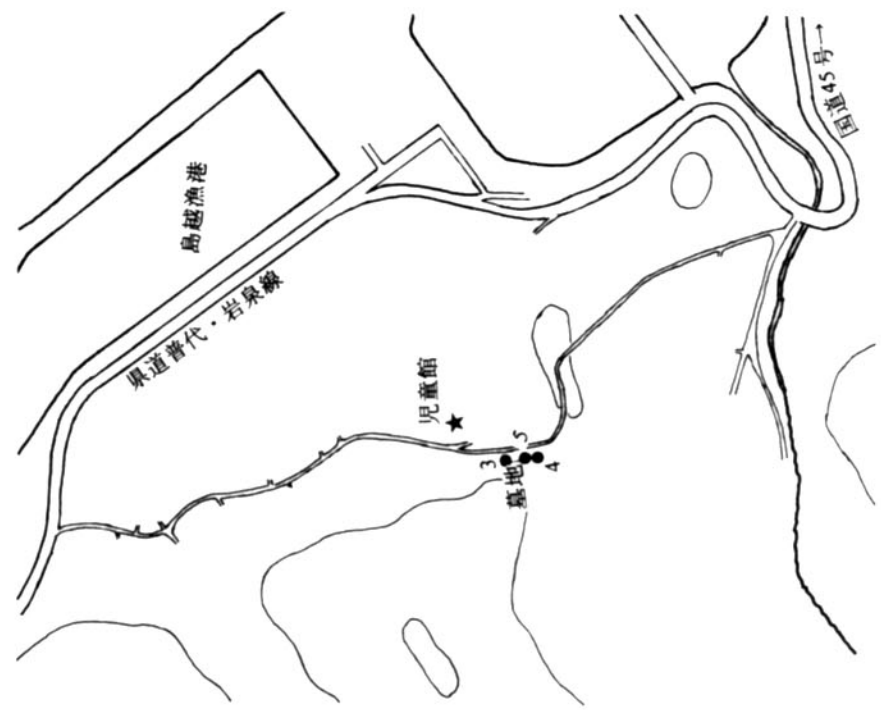
(碑面裏)

昭和八年三月三日午前二時三十八分上下二動揺ス
ル強震アリ續イテ三時頃ヨリ大音響ト共二津浪
ノ襲來アリ波浪ノ高サ約三米ヨリ八米本村ノ流
失戸數百二十三戸倒潰四戸溺死者百三名
此紀年碑ハ東京朝日新聞社愛讀者ヨリ寄託ノ義
捐金ヲ同社ガ罹災町村ヘ分配セシ残余重ネテ
分配セラレタルヲ以テ建設セシタルモノ也
紀元二千五百九十四年 昭和九年三月建立

下閉伊郡田野畑村長 畠山貞作誌

田野畑—3・田野畑—4・田野畑—5

岩手県下閉伊郡田野畑村島の越 広福寺



タテ 100 ヨコ 50 アツサ 12

田野畑—3

て
 一、チシシガシタラバユダンヨスルナ
 一、チシンガアッタラタカイトコロニアツマレ
 一、ツナミニオハレタラタカイトコロニアガレ
 一、チカクノタカイトコロヨウイシテオケ
 一、オカミノサダメタヤシキチヨリヒクイトコ
 ロニ家ヲタテルナ

(碑面裏)

皇紀二千六百年記念

昭和十五年◆月◆日 建立

當浦二丁目権利者 熊谷門介

工藤良介



タテ 210 ヨ コ 70 アツサ 25

田野畑 14

三陸海嘯横死者招魂碑
明治二十九年
六月十五日

(碑面裏)

旧五月五日
宮城縣 死亡 三千三百十四人
岩手縣 全 二万五千四百十三人
青森縣 全 三百四十六人
明治三十一年八月建立

(碑面左脇)

當村 死亡 百二十八名
戸数 三十二戸

煤搗書

タテ 235 ヨ コ 70 アツサ 16



田野畑 15

昭 津 大津浪くゝ里てめけぬ
和 浪 雄心もて以左追ひ進み
八 念 参る上らまし
年 碑

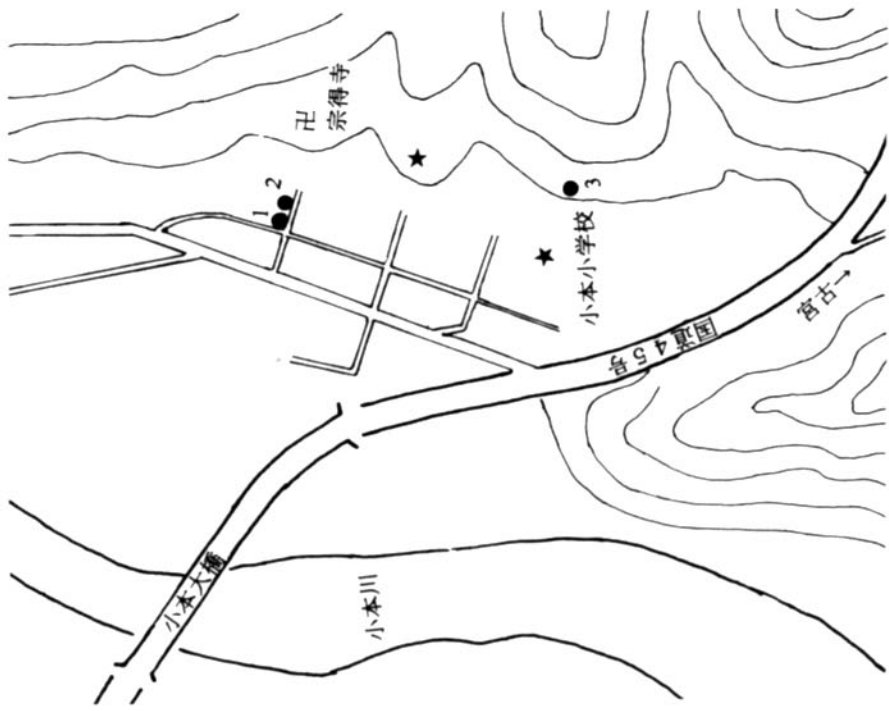
英彦

(碑面裏)

昭和八年三月三日午前二時三十八分上下二動揺ス
ル強震アリ續イテ三時頃ヨリ大音響ト共二津浪
ノ襲來アリ波浪ノ高サ約三米ヨリ八米本村ノ流
失戸數百二十三戸倒潰四戸溺死者百三名
此紀年碑ハ東京朝日新聞社愛讀者ヨリ寄託ノ義
捐金ヲ同社ガ罹災町村ヘ分配セシ残余重ネテ
分配セラレタルヲ以テ建設セシタルモノ也
紀元二千五百九十四年 昭和九年三月建立
下閉伊郡田野畑村長 畠山貞作誌

岩泉一1・岩泉一2 岩手県下閉伊郡岩泉町小本 宗得寺

岩泉一3 岩手県下閉伊郡岩泉町小本 小本小学校



タ	テ	190
ヨ	コ	79
	上	113
アツサ	下	20



岩手県下閉伊郡岩泉町小本

宗得寺

海

明治二十九年
五月五日
旧 嘯溺死者

者 供養塔

施主 小本村漁師中

岩泉一1

三月三日

昭和八年

午前三時十分海嘯襲來

旧二月八日

三陸大海嘯溺死者慰霊塔

小本村流失戸數九十三戸溺死者百五十六名

石巻市 石井敬三郎 刻

(碑面裏)

本慰霊塔ハ全国各地ノ篤志者ヨリ寄託セ
 ラレタル義捐金ノ内ヨリ特ニ海嘯溺死者
 ノ弔慰施設費トシテ縣ヨリ指定配分セラ
 レタル金員ト小本濱漁業組合ヨリノ寄附
 金ヲ以テ建設セシモノナリ

昭和九年三月 下閉伊郡小本村

同小本濱漁業組合



タテ 239 ヨ コ 93 アツサ 18

三
陸

- 大 一、大地震の後には津波が来る
- 一、地震があつたら高い所へ集まれ
- 海 一、津波に追はれたら何處でも比の
位の高い所へ逃げろ
- 嘯 一、常に近くの高い所を用意し
て置け
- 記 一、縣指定の住宅適地より低い
所へ家を建てるな

石巻市 石井敬三郎刻

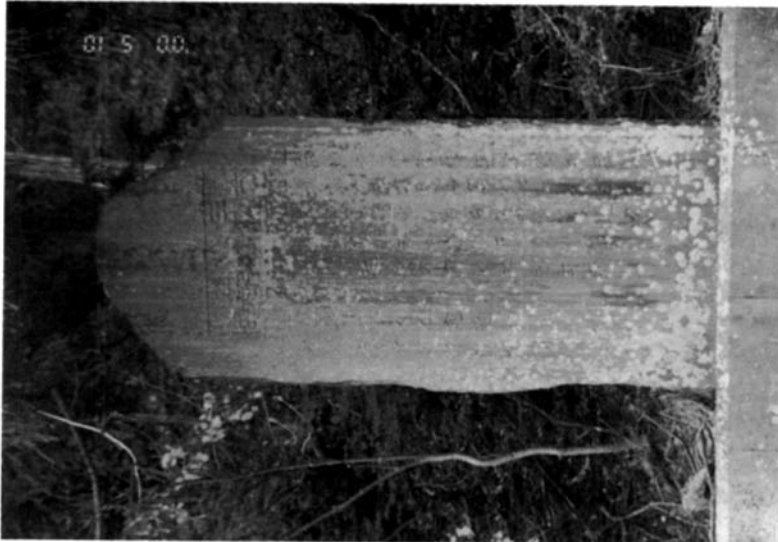
(碑面裏)

昭和八年三月三日午前二時三十分上下二動揺スル強震
 アリ續イテ三時十分頃ヨリ大音響ト共二大津浪ノ襲來
 アリ最高波浪小本二十五尺茂師四十尺餘本村ノ流失戸
 數九十三戸溺死者百五十六名負傷者三十二名損害見積
 額五十四万二千餘圓

此ノ記念碑ハ東京朝日新聞社讀者ヨリ寄託ノ義捐金ヲ
 同社ニ於テ罹災各町村ヘ配分セル殘餘ヲ本建設費トシ
 寄贈セラレタル金員ヲ以テ建設シタルモノナリ

昭和九年三月

小本村長代理 助役菅原牧夫 誌

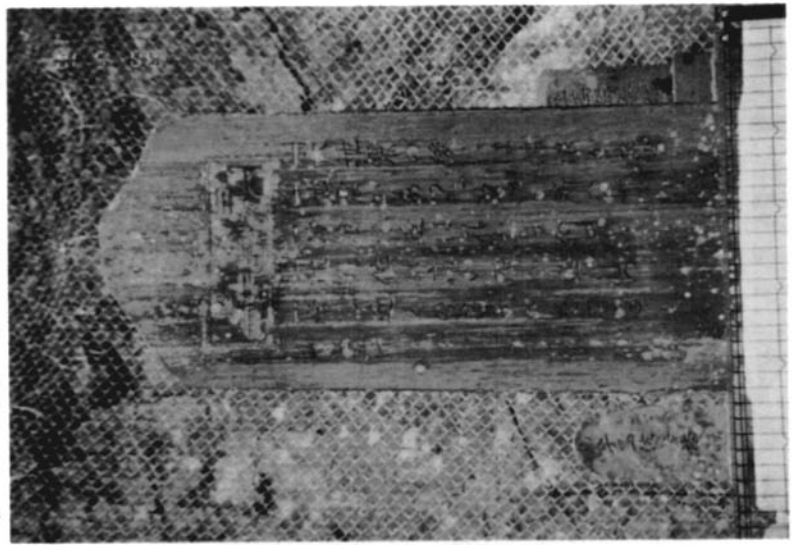


タテ275ヨコ120アツサ18

岩泉一4 岩手県下閉伊郡岩泉町茂師 国道沿い



タテ 230 ヨ コ 100 アツサ 16



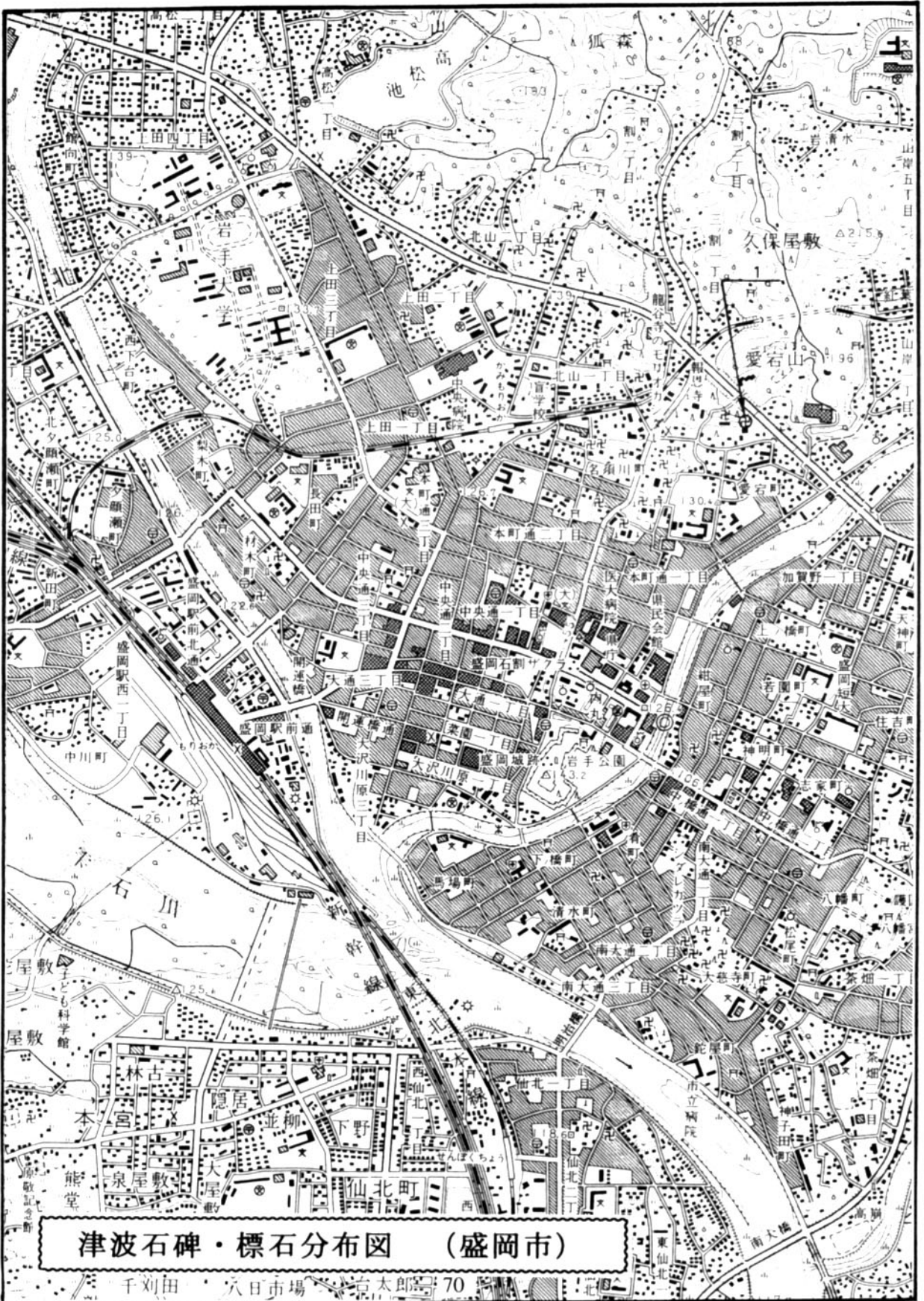
- 三 大 一、大地震の後には津波が来る
- 三 海 一、地震があつたら高い所へ集まれ
- 陸 一、津波に追はれたら何處でも
此の位の高い所へ逃げろ
- 念 一、常に近くの高い所を用意し
て置け

(碑面裏)

昭和八年三月三日午前二時三十分上下二動揺ス
 ル強震アリ續イテ三時十分頃ヨリ大音響ト共二
 大津浪ノ襲來アリ最高波浪小本二十五尺茂師四
 十尺餘本村ノ流失戸數九十三戸溺死者百五十六
 名負傷者三十二名損害見積額五十四万二千餘圓
 此ノ記念碑ハ東京朝日新聞社讀者ヨリ寄託ノ義
 捐金ヲ同社ニ於テ罹災町村へ配分セル殘餘ヲ
 本建設費トシテ寄贈セラレタル金員ヲ以テ建設
 シタルモノナリ

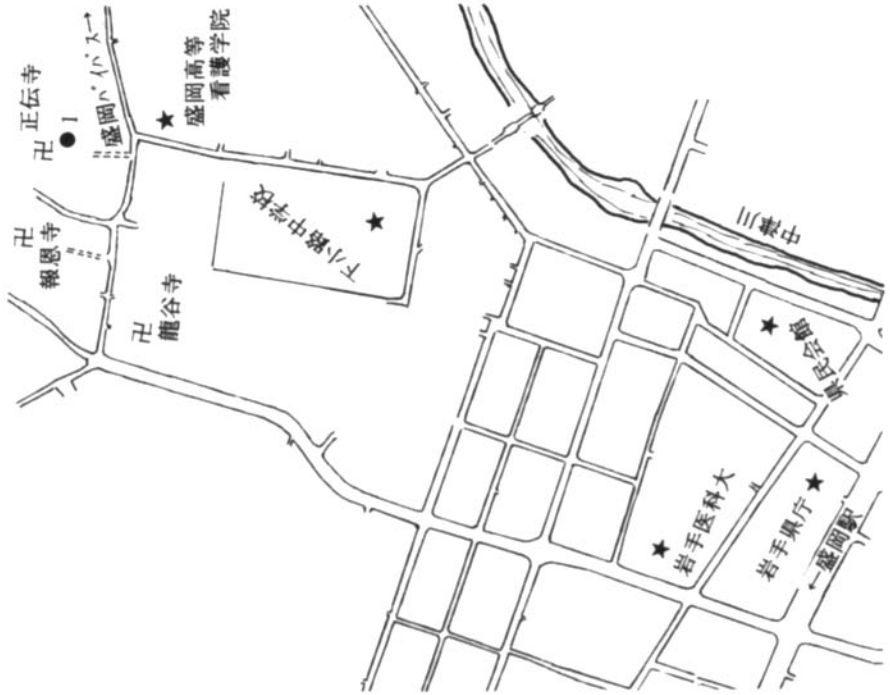
昭和九年三月

小本村長代理 助役菅原牧夫 誌



津波石碑・標石分布図 (盛岡市)

千刈田 六日市場 菅太郎 70



タテ 225
ヨコ 90
アツサ 26



盛岡 1

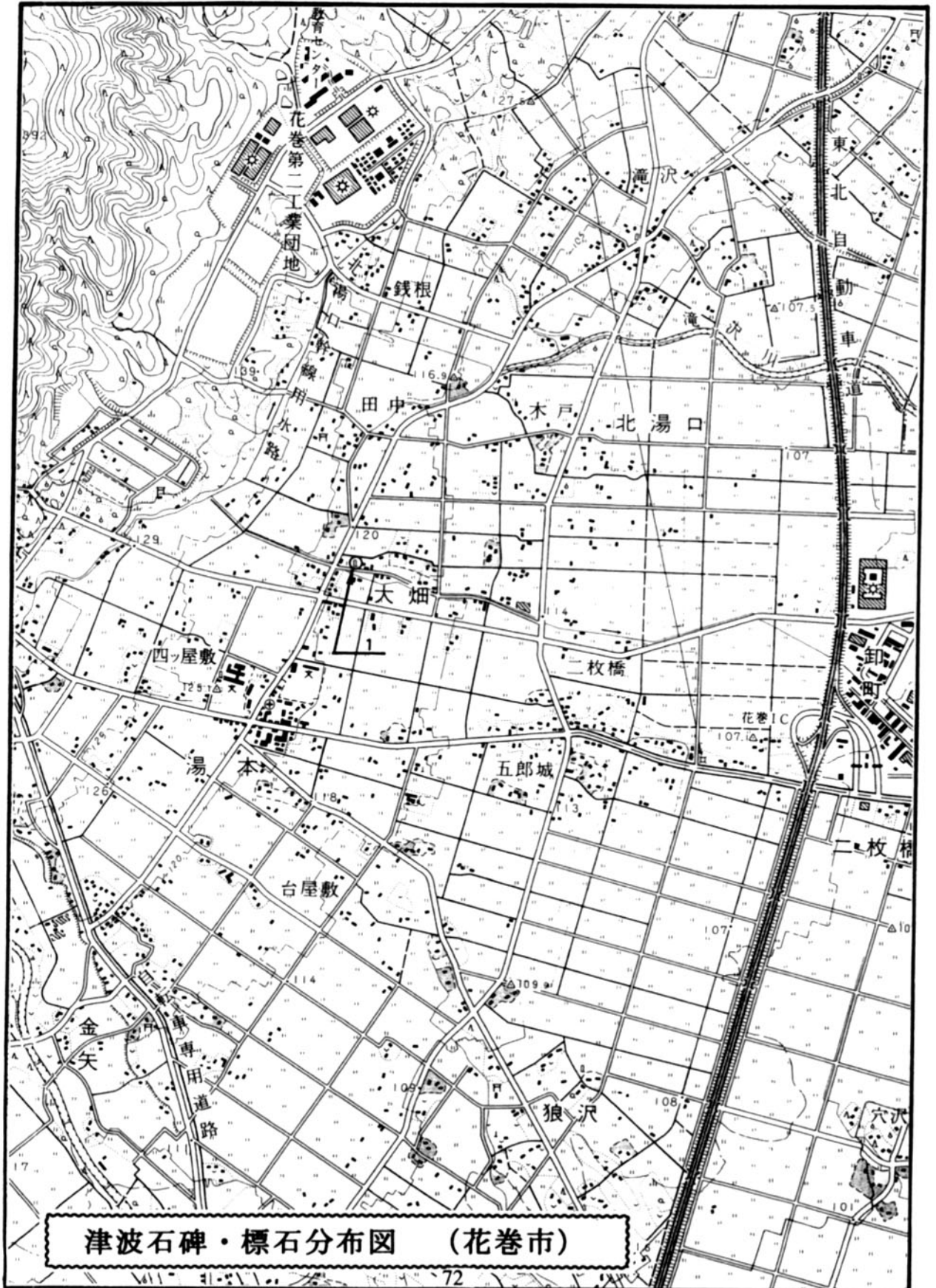
三陸海嘯難死者供養

明治二十九年丙申六月十五日
午後八時海嘯同縣三死者
十人
三陸海嘯難死者供養
建立
石工 勘次郎 彫刻

贊 (碑面裏)

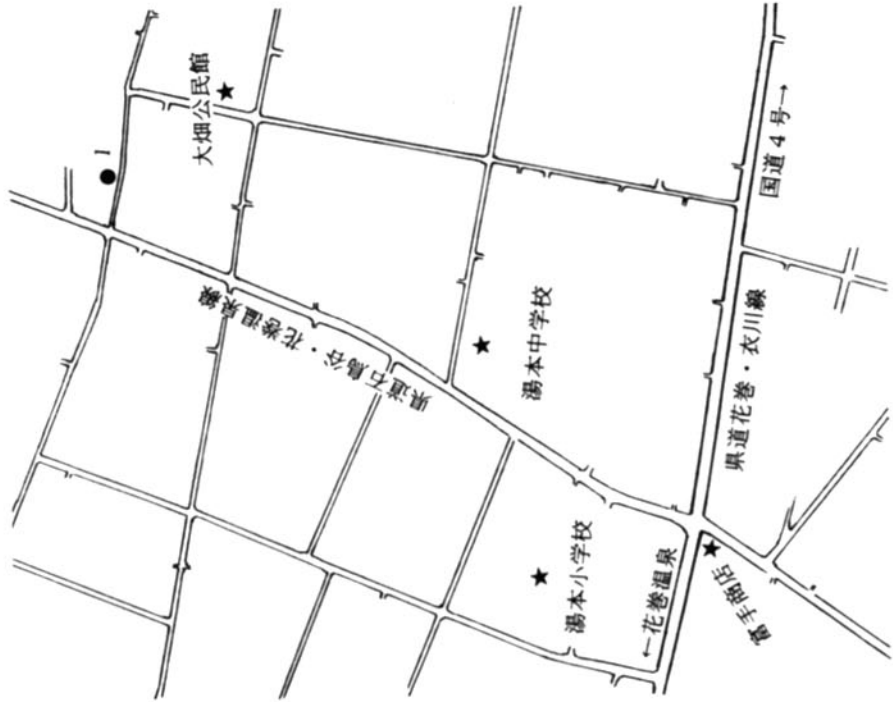
平野久兵衛 中谷權治 熊谷善治 吉田善治
大野登兵衛 佐藤長兵衛 熊谷善治 吉田善治
熊谷善治 熊谷善治 熊谷善治 熊谷善治
戸谷善治 戸谷善治 戸谷善治 戸谷善治
成善治 成善治 成善治 成善治
中善治 中善治 中善治 中善治
善治 善治 善治 善治

明治三十五年海嘯溺死者
右同忌相當之日建立焉
小松重治 米澤勘治



津波石碑・標石分布図 (花巻市)

花巻一1 岩手県花巻市大畑 県道石鳥谷・花巻温泉線より入る



タテ 133
ヨコ 63
アツサ 8



花巻一1

三陸海嘯横死者精霊
大念佛供養

明治廿九年
七月十六日

念佛連中

全太鼓願主
全全全
笠笠主

大伊鎌伊大千
田石藤田藤石葉
字良佐莊藤彌佐善
之藏藏三惣吉
丞丞郎治

全傳唱師
大伊藤新藏
石藏之丞
全鎌田茂兵工